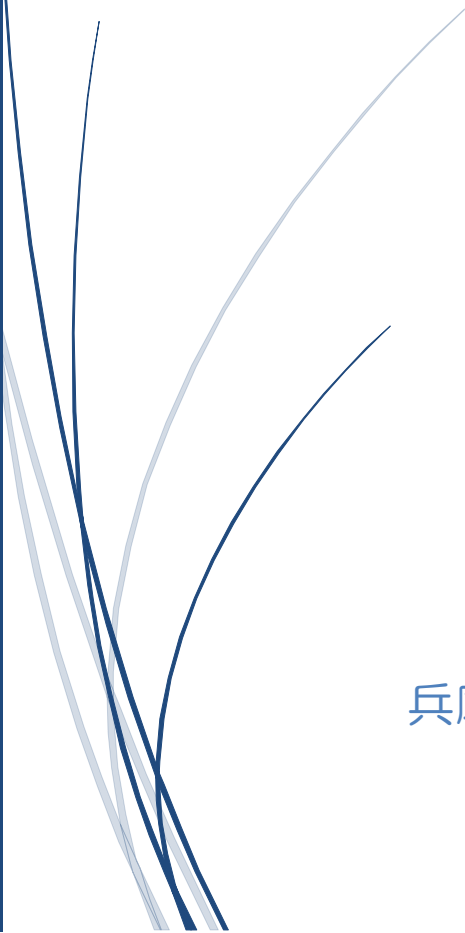




防災教育カリキュラム作成の 手引き

～兵庫の防災教育はじめての一步～



兵庫県教育委員会事務局教育企画課

目 次

1	兵庫の防災教育について	1
2	防災教育推進全体計画	2
3	防災教育指導計画	6
	(1) 小学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」	6
	(2) 中学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」	13
	(3) 高等学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」	20
	(4) 特別支援学校における学習内容	27
	(5) 防災教育年間指導計画様式例	30
4	防災教育に関連する単元一覧表	35
	(1) 小学校〔学年別〕	35
	(2) 中学校〔教科別〕	50

1 兵庫の防災教育について

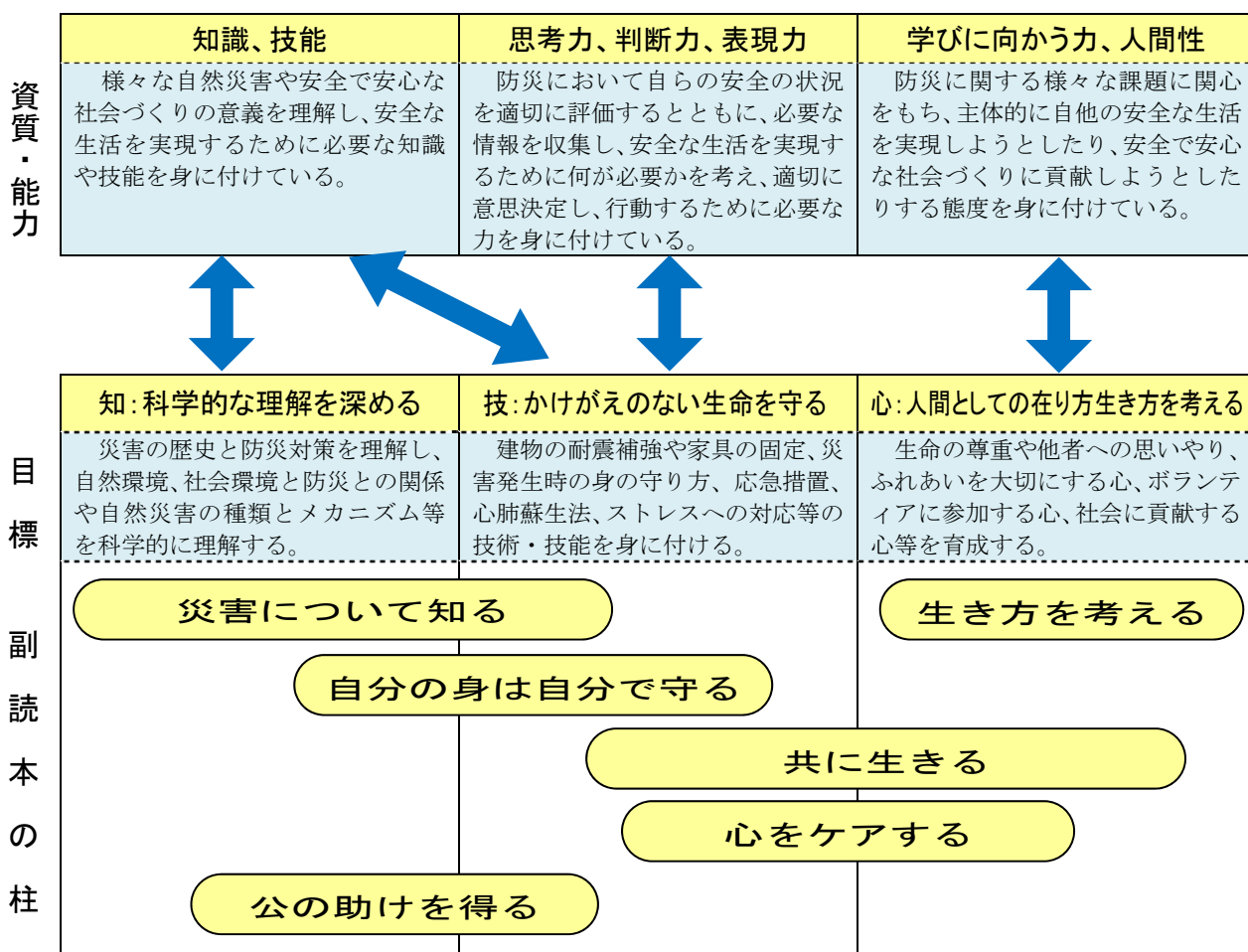
阪神・淡路大震災後、県教育委員会が設置した防災教育検討委員会の提言（平成7年10月）をうけ、従来の安全教育に加え、助け合いやボランティア精神等共生の心を育み、人間としての在り方生き方を考えさせる防災教育の実践を目指すとともに、被災した児童生徒の心のケアに努める「新たな防災教育」を推進してきた。

平成17年度からは「新たな防災教育」を受け継ぎ、県の復興10年委員会（平成15～16年度）の総括検証等の結果を踏まえ、震災のみならず様々な自然災害にも対応する「兵庫の防災教育」として、安全で安心な社会を構築するための取組を推進している。

令和2年に阪神・淡路大震災から25年が経過し、震災を知らない世代が増える中、今後はより意識をして震災の経験や教訓を語り継ぎ、東日本大震災等の教訓を踏まえた防災教育の推進に取り組む必要がある。さらに、近い将来に発生する確率が高いとされている南海トラフ巨大地震等の地震や、毎年のように発生する気象災害等、これまでの想定を超える様々な自然災害に備え、かけがえのない生命を守るため、「たくましく生きる災害に強い人づくり」がますます重要となっている。

「忘れない」「伝える」「備える」をキーワードに、防災教育の内容を教科横断的な視点で各教科等に位置付けるとともに、防災教育副読本「明日に生きる」を積極的に活用し、それぞれの教科等の特質に応じた防災・減災教育の充実を図ることにより、災害時に主体的に判断して実践する力、助け合いや共生の心を育成する。

育成すべき資質・能力と「兵庫の防災教育」の目標、副読本「明日に生きる」の柱

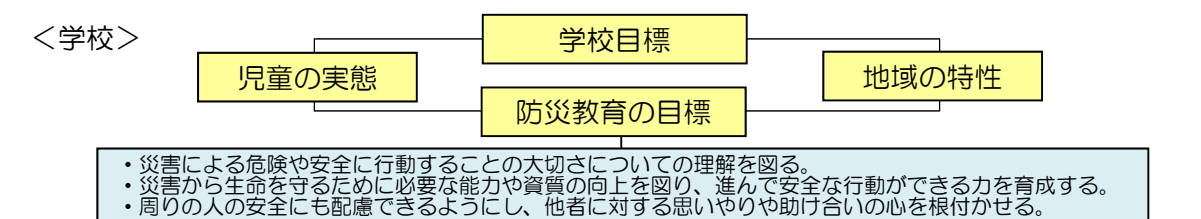


2 防災教育推進全体計画

防災教育については、平素から児童生徒の発達の段階、学校の実態や地域の特性に応じて指導内容を検討し、訓練はもとより各教科、特別の教科道徳、外国語活動、特別活動、総合的な学習（探究）の時間など、教育活動全体を通じて計画的に進める。そのため、各学校においては、検討した指導内容をもとに、児童生徒一人一人が災害に適切に対応する能力を確実に身に付けられるよう、防災教育推進全体計画を立案し、指導の充実を図ることが重要である。

小学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



推 進 の 視 点		
防災体制の整備充実	兵庫の防災教育の推進	指導力・実践力の向上
・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化 ・家庭や地域及び関係機関との連携 ・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備 ・日常の安全管理と避難経路等の点検	・教育活動全体を通じ、教科を横断した防災教育の推進 ・防災教育副読本等の活用 ・児童個々の状況に応じた心のケアの充実 ・家庭、地域と連携した効果的な防災訓練等の工夫・実施	・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上 ・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実 ・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し

各 学 年 の 目 標		
1 年	2 年	3 年
・阪神・淡路大震災等の状況を知り、災害時にはまきまりを守り、安全に行動することの大切さについての理解を図る。 ・学校、家庭や通学路における安全確保行動に関心を持ち、災害時の避難の仕方を知るとともに、大人の指示に従うなどして身を守る行動をとれるようになる。 ・日頃から家族や身の回りの大人と話したり、交流したりすることで、有事の際には、家族や大人と連絡を取り合うことができるようになる。	・阪神・淡路大震災等の状況から災害の危険性について知り、災害時にはまきまりを守り、安全に行動することの大切さについての理解を図る。 ・学校、家庭や通学路における安全確保行動に関心を持ち、災害時の避難の仕方を知るとともに、大人の指示に従うなどして身を守る行動をとれるようになる。 ・日頃から家族や身の回りの大人と話したり、交流したりすることで、有事の際には、家族や大人と連絡を取り合うことができるようになる。	・阪神・淡路大震災をはじめとする様々な自然災害の危険性について知り、安全に行動することの大切さを理解できるようにする。 ・地域の地形等に関心を持ち、災害発生時には、大人の指示を聞き、状況に応じて適切な行動がとれるようになる。 ・日頃から進んで家族や友達、周囲の人と関わり合うことで、有事の際には協力して助け合うことができるようになる。
4 年	5 年	6 年
・阪神・淡路大震災をはじめとする様々な自然災害の危険性について知り、安全に行動することの大切さを理解できるようにする。 ・地域社会に関心を持ち、災害時の命を守る工夫について知り、災害発生時には、大人の指示を聞き、状況に応じて適切な行動がとれるようになる。 ・日頃から進んで家族や友達、周囲の人と関わり合うことで、有事の際には協力して助け合うことができるようになる。	・地形や気象、自然環境について関心を持ち、これらが災害と関連していることを知り、自ら判断し安全に行動することの大切さを理解できるようにする。 ・災害に関する情報から危険を予測し、適切な判断のもと、身を守るための主体的な行動がとれるようになる。 ・日頃から家族や友達、地域の人たちと災害に関することで関わり合い、有事の際には、周囲の人と協力して、人のために役立つ行動がとれるようになる。	・災害のメカニズムについて関心を持ち、これについて調べ、理解し、自ら判断し安全に行動することの大切さを理解できるようにする。 ・災害に関する情報から危険を予測し、適切な判断のもと、周囲に気を配りながら身を守る行動がとれるようになる。 ・日頃から家族や友達、地域の人たちと災害に関することで関わり合い、有事の際には、周囲の人と助け合うとともに、ボランティア活動に進んで参加できるようにする。

各教科・外国語活動	特別の教科 道徳	特 別 活 動	総合的な学習の時間
・自然と災害に関する基礎的な知識 ・地域の人々や自然との関わり ・自然災害から安全を守る地域での支え合い ・危険の予測や回避の方法	・思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすること ・信頼し助け合う友達づくり ・命を大切にすること、外国の人々や文化に親しむ心、人権の尊重	・災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動 ・自主性を育むボランティア活動等の体験活動 ・多様な意見のよさを生かし、合意形成を行い、協力して実践すること	・ボランティア活動等の社会体験 ・過去の災害に対する地域の取組やこれからの起こりうる災害への対策について考える探究的な学習

・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
 ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）
 ・ボランティア精神の育成

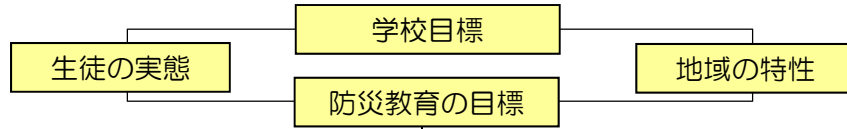
<家 庭>

・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
 ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
 ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催

<地域社会>

中学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



- ・災害発生のメカニズムの基礎や様々な地域の災害事例、日常の備えの大切さを理解できるようにする。
- ・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、自他の安全のために主体的に行動できる力を育成する。
- ・生命を尊重する心を育成するとともに、他者に対する思いやりや助け合いの心、ボランティア精神等を養う。

推進の視点

防災体制の整備充実	兵庫の防災教育の推進	指導力・実践力の向上
・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化 ・家庭や地域及び関係機関との連携 ・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備 ・日常の安全管理と避難経路等の点検	・教育活動全体を通じ、教科を横断した防災教育の推進 ・防災教育副読本等の活用 ・生徒個々の状況に応じた心のケアの充実 ・家庭、地域と連携した効果的な防災訓練等の工夫・実施	・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上 ・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実 ・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し

各学年の目標

1年	2年	3年
・自然災害について知るとともに、地域の特性をとらえることによって、災害への備えの大切さを理解できるようにする。 ・家族や社会の一員として共に力を合わせて集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。 ・人間としてかけがえのない生命を与えられていることに喜びと感謝の気持ちを持ち、人間としてどう生きていくかを考えられるようにする。	・地域の災害特性に気づかせるとともに先人の災害への備え等について調べ、地域における防災体制整備の大切さを理解できるようにする。 ・被災者の心情や災害や事故等がもたらす悲しみや苦しみにふれることで、生命の重さや尊さについて考えられるようにする。 ・ボランティア精神及び勤労の喜びを理解し、ボランティア等の活動に積極的に参加しようとする態度を養う。	・災害発生のメカニズムを理解し、安全で快適なまちづくりのための環境整備の大切さを理解できるようにする。 ・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての理解を図る。 ・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解させるとともに、進んで公共の福祉のために尽くそうとする態度を養う。 ・災害時において学校が果たす役割について理解し、学校と地域の人々とのつながりについて考えられるようにする。
・災害時に周囲の状況を的確に判断し、周囲の人にも配慮して安全な避難行動がとれるようにする。 ・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。		

各教科	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間
・科学的思考力・判断力 ・災害発生のメカニズム、地域の災害特性、地域での支え合い、防災体制等の知識 ・国や地域の防災体制の仕組みや防災対策等についての知識 ・様々な場面に応じた危険の予測や回避、避難の仕方や災害への備え ・心肺蘇生等の応急手当	・生命の尊重、差別意識の解消、多文化共生等人権尊重の精神 ・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心 ・互いに励まし合い高め合い、協力できる仲間づくり、集団生活の充実 ・人としてよりよく生きること	・日常的な備え、災害時の安全確保、的確な判断や実践的な行動 ・互いに協力し合い、自ら困難を克服する力 ・災害発生時の避難所の役割や自主組織の活動の必要性 ・自主性やボランティア精神を育成する活動	・ボランティア精神及び実践的態度を育成する活動 ・地域の災害の歴史や防災体制について問いを見いだし情報収集し、安全で安心なまちづくりについて主体的・共同的に取り組む探究的な学習

- ・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
- ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）
- ・ボランティア精神の育成

<家 庭>

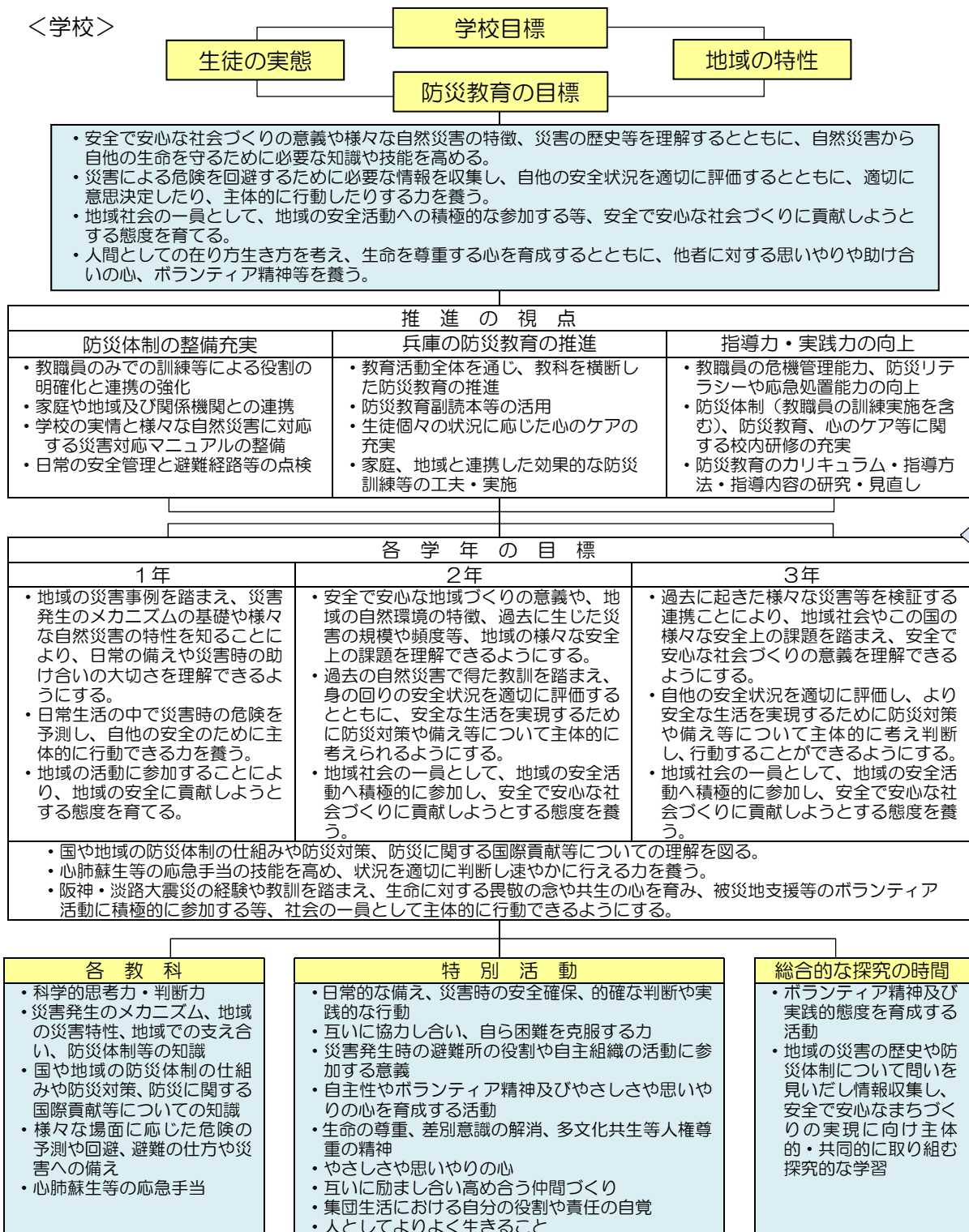
- ・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
- ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
- ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催

<地域社会>

連携

高等学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



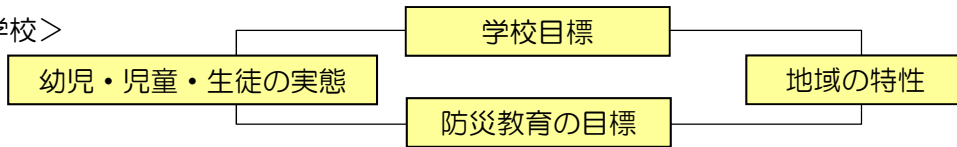
連携

- 防災意識の高（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
 - 災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）
 - ボランティア精神の育成
- <家 庭>

- ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
 - 地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
 - 市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催
- <地域社会>

特別支援学校防災教育推進全体計画（例）

<学校>



- ・災害による危険や安全に行動することの大切さについての理解を図る。
- ・災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図り、進んで安全な行動ができる力を育成する。
- ・周りの人の安全にも配慮できるようにし、他者に対する思いやりや助け合いの心を根付かせる。

推進の視点

防災体制の整備充実	兵庫の防災教育の推進	指導力・実践力の向上
・教職員のみでの訓練等による役割の明確化と連携の強化 ・家庭や地域及び関係機関との連携 ・学校の実情と様々な自然災害に対応する災害対応マニュアルの整備 ・日常の安全管理と避難経路等の点検	・教育活動全体を通じ、教科を横断した防災教育の推進 ・防災教育副読本等の活用 ・幼児、児童、生徒個々の状況に応じた心のケアの充実 ・家庭、地域と連携した効果的な防災訓練等の工夫・実施	・教職員の危機管理能力、防災リテラシーや応急処置能力の向上 ・防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育、心のケア等に関する校内研修の充実 ・防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し

各学部の目標

幼稚部	小学部	中学部	高等部
・災害時に教職員や保護者の指示に従い行動できるようにする。	・生命の尊さを感じ、災害から自らの命を守ることを理解できるようにする。 ・災害時に起こる様々な危険について知り、大人の指示のもと、自らの命を守るための行動をとれるようにする。	・過去や他地域の災害から、災害の危険や落ち着いて安全に行動することの大切さを理解できるようにする。 ・災害から命を守るため、日常の備えや避難行動ができるようにする。 ・支え合いで生活が成り立っていることに感謝し、自分にできることを進んで行おうとする態度を養う。	・災害や防災に関する理解を深め、災害時に適切な意思決定や行動選択ができるようにする。 ・応急手当の意義を理解し、心肺蘇生等の応急手当ができるようにする。 ・やさしさや思いやりの心を持って生きることの大切さを理解できるようにする。 ・自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする態度を養う。

幼稚部 各領域

・災害時の行動の仕方 ・友達への思いやりの心 ・自分の生活に関係の深い地域の人々への親しみ ・自然等の身近な事象への関心

各教科・外国語活動

・自然と災害に関する基礎的な知識 ・地域の人々や自然との関わり ・自然災害から安全を守る地域での支え合い ・危険の予測や回避の方法 ・心肺蘇生等の応急手当

特別の教科 道徳

・思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすること ・信頼し助け合う仲間づくり ・命を大切にすること、外国の人々や文化に親しむ心、人権の尊重

特別活動

・災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動 ・災害発生時の避難所の役割や生活 ・ボランティア活動や地域における体験活動等
--

総合的な学習・探究の時間

・ボランティア活動や地域における社会体験 ・過去の災害に対する地域の取組やこれから起こりうる災害への対策について考える学習
--

自立活動

・障害特性の理解と日常生活に必要な基本動作 ・災害等の不測の事態への対応 ・状況に応じたコミュニケーションと他者との関わり

- ・防災意識の高揚（家族防災会議 ※ハザードマップ、連絡方法、避難所および避難経路の確認、マイ避難カードの作成等）
- ・災害への備え（事前：家具等の転倒防止、非常持ち出し袋の準備と定期的な見直し等）（直前：最新の気象情報・避難情報の収集等）
- ・助け合いの心の育成

<家庭>

- ・ボランティア活動等、様々な体験活動や場の充実
- ・地域と連携した防災訓練等を通じた防災リテラシーの育成
- ・市町防災部局や自主防災組織、消防署、消防団等の関係者を交えた防災教育推進連絡会議の開催

<地域社会>

連携

3 防災教育指導計画

防災教育を体系的・計画的に推進するために、防災教育推進全体計画をもとに指導計画を作成し、その実践の成果を絶えず点検・評価し、体系化された指導計画にフィードバックする。

指導計画を作成するためには、学習指導要領から、防災教育に関わる指導内容を抽出し整理することが大切である。また、防災教育副読本「明日に生きる」では、防災訓練の事前・事後指導に活用できる資料や理科・社会等の指導内容に関連付けて活用できる資料、道徳の時間で活用できる読み物資料、また、ボランティア活動やマップづくり等を通じて地域に貢献する取組等、総合的な学習の時間等の課題として活用できる資料を掲載している。学習指導要領における各教科等の目標・内容に応じて、副読本の題材を位置付け、指導計画を作成する。

(1) 小学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第2章 各教科

第2節 社会

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3 年	1 目標 (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。 2 内容 (3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。 (4) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。	◎町のぼうさいしせつをさがそう
4 年	1 目標 (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。 2 内容 (3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。 (4) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。	◎さい害時に命を救う仕事 ◎1. 17はわすれない ◎大津浪記念碑 ◎阪神・淡路大震災のときに多くの命を救った地いきの助け合い

5 年	1 目標 (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	
	2 内容 (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。 (イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。 (ロ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。 (エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現すること。	◎正確な情報を早く知る
6 年	1 目標 (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。	
	2 内容 (1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。 3 内容の取扱い (1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。 ウ アの(イ)の「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げること。	◎阪神・淡路大震災からの復旧・復興

第4節 理科

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
4 年	1 目標 (2) 生命・地球 ① 身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 ③ 身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
	2 内容 B 生命・地球 (3) 雨水の行方と地面の様子 雨水の行方と地面の様子について、流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさを関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。 イ 雨水の行方と地面の様子について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。	◎あつというまにすごいながれ ◎宍粟市一宮町につたわる抜山伝説

5 年	1 目標 (2) 生命・地球 ① 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。 ③ 生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
	2 内容 B 生命・地球 (3) 流れる水の働きと土地の変化 流れる水の働きと土地の変化について、水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。 イ 流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。 (4) 天気の変化 天気の変化の仕方について、雲の様子を観測したり、映像などの気象情報を活用したりする中で、雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。 イ 天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	◎兵庫県の気象と水害
6 年	1 目標 (2) 生命・地球 ① 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 ③ 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	
	2 内容 B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 土地のつくりと変化について、土地やその中に含まれる物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 土地は、火山の噴火や地震によって変化すること。 イ 土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。	◎二つの大地震

第5節 生活

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
1 年	1 目標 (1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。 (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。 (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。	
	2 内容 〔学校、家庭及び地域の生活に関する内容〕 (1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとする。 (3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。 〔身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容〕 (4) 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。	◎じしんがおきてもあわてない ◎いのちをまもるものをさがしにいこう
2 年		

第9節 体育

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3 年	1 目標 (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。	
4 年	2 内容 D 水泳運動 (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。 イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。	◎「泳ぐ」より「うく」
5 年	1 目標 (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。	
6 年	2 内容 D 水泳運動 水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。 G 保健 (1) 心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (イ) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。 (ロ) 心と体には、密接な関係があること。 (ハ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。 イ 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 (2) けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア けがの防止に関する次の事項を理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。 (ロ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。 イ けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。	◎「泳ぐ」より「うく」 ◎ふれあうと温かくなるね ◎き險な空間を減らそう

第3章 特別の教科 道徳

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
全	第1 目標 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	
1 年	第2 内容 A 主として自分自身に関すること。 [節度、節制] 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。	
2 年	B 主として人との関わりに関すること。 [親切、思いやり] 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。 [感謝] 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。 [友情、信頼] 友達と仲よくし、助け合うこと。	◎おばあちゃんこれ ◎とてもこわかったよ ◎ぼくの車いす ◎ありがとう

1 年	C 主として集団や社会との関わりに関すること。 [規則の尊重] 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 [勤労、公共の精神] 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。 [よりよい学校生活、集団生活の充実] 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	◎水くみしたよ ◎元気でよかったね
2 年	[伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。 [生命の尊さ] 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	◎おふろにはいったよ ◎いろんな気持ち ◎わたしのシロ
3 年	A 主として自分自身に関すること。 [節度、節制] 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。 [希望と勇気、努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。	◎みんなを見守るプラボン ◎ひとつになった ◎ガスの工事に来たお兄ちゃん（水が出た） ◎いつまでもわすれない
4 年	B 主として人との関わりに関すること。 [親切、思いやり] 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。 [感謝] 家族など生活を支えている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもちて接すること。 [友情、信頼] 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。 C 主として集団や社会との関わりに関すること。 [規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。 [勤労、公共の精神] 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。 [伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。 [生命の尊さ] 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	◎おばあちゃん 風呂に入りよ ◎何も考えられない ◎南三陸にさく「はるかのひまわり」 ◎春がきた
5 年	A 主として自分自身に関すること。 [節度、節制] 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。 [希望と勇気、努力と強い意志] より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。 B 主として人との関わりに関すること。 [親切、思いやり] だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。 [感謝] 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに答えること。 [友情、信頼] 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	◎明日を信じて ◎わたしにとっての地震 ◎花と水 ◎仮設住宅
6 年	C 主として集団や社会との関わりに関すること。 [勤労、公共の精神] 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。 [家族愛、家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。 [よりよい学校生活、集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。 [伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。 [国際理解、国際親善] 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。 [生命の尊さ] 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し生命を尊重すること。	◎ぼくたちの夏 ◎ぼくらができるひ災地支えん ◎ぼくは一人じゃない ◎何かしたい役に立ちたい ◎共に支え合って ◎お父さん ◎12 時にサイレンが町中にひびいた ◎悲しみを乗り越えて ◎今日は青い日

第5章 総合的な学習の時間

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
3年 ～ 6年	第1 目標 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 第2 各学校において定める目標及び内容 1 目標 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。 2 内容 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。	◎想定や経験をこえた東日本大震災 ◎まぼろしの白石村 ◎大津浪記念碑

第6章 特別活動

学年	学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
全	第1 目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	
1年 ～ 6年	〔学級活動〕 1 目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 2 内容 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	◎助け合って生活するために ◎災害後の生活に求められる「公平さ」 ◎ふれあうと温かくなるね ◎じしんのときのこうどう ◎悲しい気持ち、こわい気持ち ◎しんぞうがとまりそうだった ◎ぼくの町がなくなってしまった ◎しゅん時の判断救った命 ◎地震時に命を守るひ難行動

1 年 ～ 6 年	〔児童会活動〕	
	1 目標 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。	
	2 内容 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。	◎ぼくらができるひ災地 支えん
1 年 ～ 6 年	〔学校行事〕	
	1 目標 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
	2 内容 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊的行事 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。	◎1. 17はわすれない (兵庫県で行われている追悼行事) ◎悲しみを乗り越えて ◎芦屋市の小学校の震災追とう式 ◎じしんのときのこうどう ◎あつというまにすごいながれ ◎大地しんがきた ◎さい害直後のこんなんな生活を乗り越える。 ◎想定や経験をこえた東日本大震災 ◎しゅん時の判断救った命 ◎地震時に命を守るひ難行動 ◎1. 17は忘れない (兵庫からの発しん) ◎震災モニュメントマップ ◎何かしたい役に立ちたい ◎ぼくらができるひ災地支えん



(2) 中学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第2章 各教科

第2節 社会

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
〔地理的分野〕 1 目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 2 内容 C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法 場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること。 (イ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的な技能を身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること。 (2) 日本の地域的特色と地域区分 次の①から④までの項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。 ① 自然環境 ② 人口 ③ 資源・エネルギーと産業 ④ 交通・通信 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) ①から④までの項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。 (イ) 日本の地域的特色を、①から④までの項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 (3) 日本の諸地域 次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。 ① 自然環境を中核とした考察の仕方 ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。 (イ) ①から⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 (4) 地域の在り方 空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。 (イ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。	◎地震の歴史

〔公民的分野〕	
1 目標	
現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。	
(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	
(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
2 内容	
A 私たちと現代社会	◎阪神・淡路大震災からの復旧・復興
(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色	
位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 次のような知識を身に付けること。	
(7) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること。	
※「情報化」については、人工知能の急速な進化などによる産業や社会の構造的な変化などに関連付けたり、災害時における防災情報の発信・活用などの具体的事例を取り上げたりすること。	
B 私たちと経済	
(2) 国民の生活と政府の役割	
対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 次のような知識を身に付けること。	
(7) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。	
イ 国民の生活と福祉の向上を図ることに向けて、次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。	
(7) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。	
D 私たちと国際社会の諸課題	
(1) 世界平和と人類の福祉の増大	
対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。	
(7) 日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。	

第4節 理科

学習指導要領における目標・内容		関連する副読本の題材
〔第2分野〕		
1 目標		
生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
(1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		
(2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。		
(3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。		
2 内容		
(2) 大地の成り立ちと変化	◎地震から命を守るために ◎津波から命を守るために ◎地震の歴史 ◎あなたは命を守れますか？	
ア 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。		
(7) 身近な地形や地層、岩石の観察		
⑦ 身近な地形や地層、岩石の観察		
身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構造物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。		

(イ) 地層の重なりと過去の様子 ⑦ 地層の重なりと過去の様子 地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とそこの中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解すること。 (ロ) 火山と地震 ⑦ 火山活動と火成岩 火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解するとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解すること。 ⑧ 地震の伝わり方と地球内部の働き 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。 (エ) 自然の恵みと火山災害・地震災害 ⑦ 自然の恵みと火山災害・地震災害 自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらを火山活動や地震発生仕組みと関連付けて理解すること。 イ 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現すること。 (4) 気象とその変化 ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 気象観測 ⑦ 気象要素 気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解すること。また、気圧を取り上げ、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだして理解するとともに、大気圧の実験を行い、その結果を空気の重さと関連付けて理解すること。 ⑧ 気象観測 校庭などで気象観測を継続的にを行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を身に付けること。 (イ) 天気の変化 ⑦ 霧や雲の発生 霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解すること。 ⑧ 前線の通過と天気の変化 前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気と関連付けて理解すること。 (ロ) 日本の気象 ⑦ 日本の天気の特徴 天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解すること。 ⑧ 大気の動きと海洋の影響 気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解すること。 (エ) 自然の恵みと気象災害 ⑦ 自然の恵みと気象災害 気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。 イ 気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現すること。 (7) 自然と人間 自然環境を調べる観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物と環境 ⑦ 地域の自然災害 地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について認識すること。 イ 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。	◎大雨から命を守るために
--	---------------------

第7節 保健体育

学習指導要領における目標・内容		関連する副読本の題材
〔保健分野〕		
1 目標		
(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。		
2 内容		
(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。 (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。 (イ) 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。 (ロ) 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。 (ハ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。 (ニ) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。	◎こころとからだの元気のために ◎あなたは大切な人の命を助けられますか？	

第8節 技術・家庭

学習指導要領における目標・内容		関連する副読本の題材
〔技術分野〕		
1 目標 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
2 内容		◎地震から命を守るために 地震への備え② すぐに見える家具の固定 地震への備え③ 命を守るための国や地方公共団体の取り組み
A 材料と加工の技術		
(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。		
〔家庭分野〕		
1 目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
2 内容		◎地震から命を守るために 地震への備え② すぐに見える家具の固定
B 衣食住の生活		
次の(1)から(7)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (6) 住居の機能と安全な住まい方 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。 イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。		

第3章 特別の教科 道徳

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 目標 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	
第2 内容 A 主として自分自身に関すること。 [自主、自律、自由と責任] 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。 [節度、節制] 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活すること。 [向上心、個性の伸長] 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。 [希望と勇氣、克己と強い意志] より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 [真理の探究、創造] 真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。 B 主として他の人との関わりに関すること。 [思いやり、感謝] 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めこと。 [礼儀] 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。 [友情、信頼] 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。 [相互理解、寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。 C 主として集団や社会との関わりに関すること。 [遵法精神、公德心] 法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。 [社会参画、公共の精神] 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。 [勤労] 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。 [家族愛、家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。 [よりよい学校生活、集団生活の充実] 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。 D 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること。 [生命の尊さ] 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。 [自然愛護] 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。 [感動、畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。 [よりよく生きる喜び] 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	◎If…『生きる』という時間を求めて ◎ゆるる心 ◎仲間に会えた ◎きびしさの中で ◎絶対に、こんなことで死んでたまるか ◎心がひとつに ◎生かされている ◎語りかける目 ◎響け！復興輪太鼓

第4章 総合的な学習の時間

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 目標 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 第2 各学校において定める目標及び内容 1 目標 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。 2 内容 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。	◎地域の一員としてできること

第5章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。	
〔学級活動〕 1 目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 2 内容 1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。	◎1. 17は忘れない ◎地域の一員としてできること
〔生徒会活動〕 1 目標 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 2 内容 1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2) 学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。 (3) ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。	◎地域の一員としてできること ◎1. 17は忘れない ◎地域の一員としてできること

〔学校行事〕 1 目標 全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
2 内容 1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 旅行・集団宿泊的行事 平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。	◎1. 17は忘れない ◎あなたは命を守れますか？ ◎地震の歴史 ◎地震から命を守るために ◎津波から命を守るために ◎大雨から命を守るために ◎「津波てんでんこ」にこめられた家族の思い ◎地域の一員としてできること



(3) 高等学校学習指導要領における防災教育の目標・内容と「明日に生きる」

第2章 各学科に共通する各教科

第2節 地理歴史

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 地理総合 1 目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 2 内容 C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災 人間と自然環境との相互依存関係や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解すること。 (イ) 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。	◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎安全な街づくりに参画する
第2 地理探究 1 目標 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 2 内容 A 現代世界の系統地理的考察 (1) 自然環境 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。	◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて

第3節 公民

学習指導要領における目標・内容		関連する副読本の題材
第1 公共 1 目標 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。		
2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けること。		◎大雨による災害に備えて ◎避難行動における心理的特性
第3 政治・経済 1 目標 社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。		
2 内容 A 現代日本における政治・経済の諸課題 (2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述すること。		◎阪神・淡路大震災からの復旧・復興

第5節 理科

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 科学と人間生活 1 目標 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 2 内容 (2) 人間生活の中の科学 身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、それらについての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 イ 宇宙や地球の科学 ④自然景観と自然災害 自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解すること。 イ 光や熱の科学、物質の科学、生命の科学、宇宙や地球の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。	◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて
第8 地学基礎 1 目標 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	
2 内容 (1) 地球のすがた 地球のすがたについての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 地球のすがたについて、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 活動する地球 ④火山活動と地震 火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレート運動と関連付けて理解すること。 (ウ) 大気と海洋 ⑦地球の熱収支 気圧や気温の鉛直方向の変化などについての資料に基づいて、大気の構造の特徴を見いだして理解するとともに、太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解すること。 イ 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現すること。 (2) 変動する地球 変動する地球についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 変動する地球について、宇宙や太陽系の誕生から今日までの一連の時間の中で捉えながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、自然環境の保全の重要性について認識すること。 (イ) 地球の環境 ④日本の自然環境 日本の自然環境を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりについて認識すること。 イ 変動する地球について、観察、実験などを通して探究し、地球の変遷、地球の環境について、規則性や関係性を見いだして表現すること。	◎地震に備えて ◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて

第6節 保健体育

-23-

第9節 家庭

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 家庭基礎 1 目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 2 内容 B 衣食住の生活の自立と設計 次の(1)から(3)までの項目について、健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (3) 住生活と住環境 ア ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 イ 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫すること。 C 持続可能な消費生活・環境 次の(1)から(3)までの項目について、持続可能な社会を構築するために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫すること。	<参考> 中学生用 ◎地震から命を守るために 地震への備え② すぐにできる家具の固定
第2 家庭総合 1 目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 2 内容 B 衣食住の生活の科学と文化 次の(1)から(3)までの項目について、健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (3) 住生活の科学と文化 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 (ロ) 家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できること。 イ 主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活とまちづくり、日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫すること。 C 持続可能な消費生活・環境 次の(1)から(3)までの項目について、持続可能な社会を構築するために実践的・体験的な学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 イ 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫すること。	<参考> 中学生用 ◎地震から命を守るために 地震への備え② すぐにできる家具の固定

第4章 総合的な探究の時間

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 目標 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 第2 各学校において定める目標及び内容 1 目標 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。 2 内容 各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。	◎地域の一員としてあなたがたができること ◎安全な街づくりに参画する

第5章 特別活動

学習指導要領における目標・内容	関連する副読本の題材
第1 目標 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 〔ホームルーム活動〕 1 目標 ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 2 内容 1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。	◎皆さんに考えてほしいこと ◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎南海トラフ巨大地震 「その時」あなたは① ◎南海トラフ巨大地震 「その時」あなたは② ◎山崎断層による地震 「その時」あなたは③ ◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて ◎避難行動における心理的特性 ◎兵庫県南部地震について ◎一変した光景 ◎震災に教えられた ◎阪神・淡路大震災 ◎神戸市立西市民病院4階 ◎かあさん、頑張るよ ◎あの震災から学んだこと ◎地域の一員としてあなたがたができること ◎災害ボランティアのすすめ ◎支援者としての心のケアの視点

〔生徒会活動〕 1 目標 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
2 内容 1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2) 学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。 (3) ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。	◎地域の一員としてあなたができること ◎災害ボランティアのすすめ ◎支援者としての心のケアの視点
〔学校行事〕 1 目標 全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
2 内容 1の資質・能力を育成するため、全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 旅行・集団宿泊的行事 平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。	◎1. 17は忘れない ◎あなたは命を守れますか？ ◎災害から命を守るために ◎南海トラフ巨大地震 「その時」あなたは① ◎南海トラフ巨大地震 「その時」あなたは② ◎山崎断層による地震 「その時」あなたは③ ◎地震に備えて ◎大雨による災害に備えて ◎避難行動における心理的特性 ◎あの震災から学んだこと ◎地域の一員としてあなたができること ◎災害ボランティアのすすめ ◎支援者としての心のケアの視点

(4) 特別支援学校における学習内容

特別支援学校においては、小学校、中学校及び高等学校における指導内容を参考にするとともに、児童生徒の障害の状態、発達段階、特性等及び地域の実態等に応じて、次の例を参考にして指導することが考えられる。

ア 小学部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
生活科	健康・安全	(1段階) - 危険な場所について知る。小さな玩具や硬貨などを口に入れない、階段や段差などに注意して歩く。 - 信号や標識に従うことや道路を安全に横断する。教師と一緒に体験し、安全に通行しようとする。 - 教師と一緒に避難し、指示に従って避難する。教師と手を繋いだりして、適切な行動をする。 - 災害や事故、地域の施設設備について知る。教師と一緒に活動し、危険な場所などがあることに気付く。 (2段階) - 安全な遊び方や遊具・器具の使い方を知るなど、身近な生活の安全に関心をもつ。 - 自動車や自転車などに気を付ける。歩行者用の信号や踏切の警報器の意味を知るなど、安全な歩行の仕方が分かり、安全への習慣を身に付ける。 「火事」「地震」「避難」などの言葉の意味を理解したり、避難時に友達と一緒に行動しようとしたりする。 - 危険な場所に気付くとともに、身近にある安全な場所を知る。教師や友達と一緒に行動し、安全に生活する意識を高める。 (3段階) - 自分で気を付けながら、安全に器具等を扱う、危険な場所や状況を知らせ自分から回避するなど、適切な対応ができる。 - 左右を確認して渡ったり、標識を理解したりする。自分で気を付けながら安全に過ごせる。 - 避難時に、教師の指示を適切に理解し、適切な行動の必要性が分かる。 - 土砂崩れや河川の増水、地震や火事などの災害に気付き、その場の状況をとらえて行動できることや、地域の避難場所が分かり移動するなど、安全な場所や人々との接し方を身に付ける。日頃から安全や防災についての意識を高めておく。
	社会の仕組み	(1段階) - 自分が住んでいる地域の自然や街の様子に関心をもつ。自分が住んでいる地域の自然や街の様子の特徴が分かる。 (2段階) - 自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、おおよその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る。 - 図書館、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおおよその働きが分かる。 (3段階) - 家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業が分かったりする。 - 自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かる。 - 自分が住んでいる地域や周辺地域の大きな河川、港湾、住宅地などのおおよそが分かる。 - テレビや新聞、インターネット等で身近な社会の出来事を知り、関心をもつ。 - 警察署、消防署などを実際に訪問したり、見学したりして、利用の仕方を知るとともに、おおよその仕事の様子が分かる。
体育科	保健	(1段階) - 教師と一緒にうがいをしたり汗をぬぐったりする。 - 体調が悪いときやけがをしたときに、教師に伝える。 (2段階) - 体調が悪いときやけがをして痛みを感じていることを教師等に知らせたり、手の汚れの状態を見て、手洗いができたりする。

イ 中学部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
社会科	公共施設 地域の安全 我が国の地理や歴史	(1段階) - 学校、公園、公民館、コミュニティセンター、警察署、消防署、病院などの役割と名称と位置を一体的に結び付け、積極的に利用しようとする意識を育てる。 (2段階) - 公共施設や公共物の役割について調べ、現在や将来の自分の生活の中での利用について考える。 (1段階) - 消防署、警察署、病院等が地域を守る働きについて理解する。 - 災害や事故に対する施設・設備の設置、地域防災訓練の実施などの備えを調べる。 - 防災リュックや非常食の用意、避難経路や避難場所の確認などの家庭との連携、地域防災訓練への参加など、地域との連携を図る。 (2段階) - 地震、津波、気象、火山等の災害に対し、関係機関や地域の人々が協力して備えをしていることを理解する。 - 災害から人々を守る活動について、調べ、考え、表現する。 - 地域の安全を守る活動や働きを捉え説明したり、そこに関わる人々の思いを考えたりする。 (1段階) (自分が住んでいる市町の) 土地の高低や海岸沿いなどの地形、住宅、田畑、森林、港などの様子が分かる。 (2段階) (自分が住んでいる都道府県の) 土地の高低や海岸沿いなどの地形、住宅、田畑、森林、港などの様子が分かる。
理科	地球・自然	(2段階) - 水は高い場所から低い場所へと流れて集まることや、水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることなどを理解する。 - 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることや、水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことなどを理解する。
保健 体育科	保健	(1段階) - 病気の予防のために汗をふいたり、うがいをしたりするなど、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 - 進んで身体及び身の清潔に気を付ける、寒暖に応じて着衣を調整する、体調を考えて適度な運動をする、栄養が偏らないようにバランスのとれた食事をするなどして、健康的な生活を送ることができるようにする。 - 自分の体調の変化を捉え、けがや病気の際には、教師や友達に伝えたりし、消毒液や体温計を適切に使ったり、薬を指示に応じて服用したりできるようになる。 (2段階) - 不安や悩みなどがある時には、人に話したり相談したりすること、遊び・運動・音楽・呼吸法などによって、気持ちを楽にしたり気分を変えたりすることを知る。
職業科 ・ 家庭科	職業生活 情報機器の活用 衣食住の生活	- 作業に必要な工具類や農具、工作機械の安全な操作の仕方を理解し、整理整頓をする。 - 情報機器の操作方法に慣れ、活用して情報を集める。 3食を規則正しくとり、栄養や食品をバランスよくとることの重要性を理解する。 - 地震や火災など緊急時に身を守ることや避難場所、連絡先について理解する。

ウ 高等部

〈各教科等における主な関連内容〉

領域	学習指導要領の内容	取扱いの一例
社会科	公共施設の役割と制度 我が国の国土の自然環境と国民生活	- 公共施設や公共物は、それぞれに様々な機能を有しており、社会生活をより快適に営むのに必要なものであることを知る。 - 我が国では、国土の地形や気候などとの関係から地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの様々な自然災害が起こりやすいこと、自然災害はこれまで度々発生しこれからも発生する可能性があることなどを基に、国土の自然災害の状況について理解する。 - これまでに我が国においてどのような自然災害が、いつどこで発生したか、自然災害による被害をどのように減らす対策をとっているかなどの問いを設けて調べたり、自然災害と国土の自然条件を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する。 - 国や県などは、砂防ダムや堤防、防潮堤の建設、津波避難場所の整備、ハザードマップの作成など、自然災害の種類や国土の地形や気候に応じた対策や事業を進めていることなどを基に、国土の自然災害への対策や事業について理解する。
理科	地球・自然	- 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。 - 雨の降り方によって、水の速さや量が増し、地面を大きく侵食したり、石や土を多量に運搬したり堆積させたりして、土地の様子が大きく変化する場面があることなどを理解する。 - 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、また、雲には様々なものがあることを理解する。 - 天気はおよそ西から東へ変化していくという規則性があることを理解したり、映像などの気象情報を用いて予想ができたりする。台風の進路についてはこの規則性が当てはまらないことや、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることにも触れる。 - 長雨や集中豪雨がもたらす川の増水による自然災害に触れる。 - 火山の噴火や地震がもたらす自然災害に触れる。
保健 体育科	保健	- けがや疾病の予防、心身の機能の発達に関すること、ストレスへの対処、交通事故や自然災害などへの備えと対応について、個人生活を中心として理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる基本的な技能を身に付ける。 - 毎日適切な時間に食事をする、年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮すること、適切な休養及び睡眠をとる必要があることを理解できるようにする。 - 地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒など原因となって危険が生じること、また、地震に伴って発生する津波、土砂崩れ、地割れ、火災などの二次災害によっても自然災害が生じることなどを理解できるようにする。その際、地域の実情に応じて、気象災害や火山災害などについても触れる。 - 日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、緊急地震速報を含む災害情報を正確に把握すること、地震などが発生した時や発生した後、周囲の状況を的確に判断し、自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解する。 - 災害発生時の周囲の状況を的確に判断できるよう災害情報の取得方法、緊急連絡方法、避難所への避難方法、周囲へ助けを求めることなどを保護者と共に確認する。
職業科	職業生活	- 道具や機械等の種類や用途が分かり、作業内容に応じて、使用する道具や機械等を適切に選定し、安全・衛生に留意して使用する。 - 道具や機械の手入れや簡単な修理及び管理を行う。

(5) 防災教育年間指導計画様式例

ア 小学校低学年(1・2・3学年)

※ 教科・外国語活動、特別の教科・道徳の欄(水色セル)はP35～40の単元一覧表を参考に追記

※ 〈 〉 は、防災教育副読本「あすにいきる」の題材名

月	1年			2年			3年		
	教科	道徳	特活	教科	道徳	特活	教科・外国語活動	道徳	特活
	防災教育関連行事等								総合
	年間指導計画・組織 校区、通学路の安全点検 学級連絡網の作成 引き渡しカード作成 地区別安全下校指導	生：〈じしんがお きてもあわてな い〉 道徳：いろいろな 気もち	下校指導 〈しんぞうがとま りそうだった〉			下校指導 〈ぼくの町がな くなってしまった〉			【学習活動例】 テーマ「地域のふ しぎをさぐる」 学習計画立案
4									下校指導
5	集団下校訓練 防災訓練計画 第1回防災訓練 (授業中・地震火災・引き渡し)		避難訓練事前指導 〈じしんのとき こうどう〉			避難訓練事前指導 〈じしんのとき こうどう〉	社：地域の安全を 守る働き(消防署 や警察署)		避難訓練事前指導 〈じしんのとき こうどう〉
6	豪雨・台風によって 水泳安全指導 防犯訓練(不審者)	〈おふろにはいっ たよ〉		生：地域巡り〈い のちをまもるもの をさがしにいこ う〉	〈わたしのシロ〉	〈あつというまに すこいながれ〉	社：〈町のぼうさい しせつをさがそう〉		地域の自慢 町で働く人々
7	救急法(職員・PTA) 着衣水泳		〈かぞくで はな しあおう〉 夏休みの生活			夏休みの生活	体：〈「泳ぐ」より 「うく」〉	〈みんなを見守る プラポン〉	夏休みの生活
8	防災ポスター 防災機器の点検整備 通学路の安全点検								
9	第2回防災訓練 (休憩中・地震火災) 防災教育講話 防災週間	〈とてもこわかっ たよ〉	避難訓練事前指導 〈じしんがおきて もあわてない〉		〈おばあちゃんこ れ〉	避難訓練事前指導 〈じしんがおきて もあわてない〉		〈ガスの工事に来 たお兄ちゃん〉 〈水が出た〉	避難訓練事前指導 〈大地しんがきた〉 〈大地しんがきた〉
10									
11	ストーブの取扱い				〈ぼくの車いす〉				
12	集団下校訓練 教職員研修 (防災教育講話)	〈ありがとう〉	冬休みの生活			冬休みの生活		〈いつまでもわす れない〉	冬休みの生活
1	第3回防災訓練 (家庭から地域・地震) 消防署招聘 (防災器具取扱い等) 追悼式	〈水くみしたよ〉	避難訓練事前指導 〈悲しい気持ち、 こわい気持ち〉		〈元気でよかった ね〉	避難訓練事前指導 〈悲しい気持ち、 こわい気持ち〉		〈ひとつになっ た〉	避難訓練事前指導 〈助け合って生活 するために〉 〈1.17はわすれな い〉
2	防災器具の点検整備 教育相談							〈春がきた〉	〈地いきの人にあ りがとう〉 総合探究のまとめ
3			春休みの生活			春休みの生活			春休みの生活

イ 小学校高学年(4・5・6学年)

※ 教科、特別の教科道徳の欄(水色セル)はP41～49の単元一覧表を参考に追記

※ () は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

6 年													
月	防災教育関連行事等	教科・外国語活動	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合
	年間指導計画・組織 校區、通学路の安全点検 学級連絡網の作成 引き渡しカード作成 地区別安全下校指導 避難経路の確認		〈何も考えられな い〉	下校指導	【学習活動例】 テーマ「わたしたち のまちはどんなところ だろう」 地域の地形の特徴 ・土地利用 ・学校周囲の様子	社：我が国の国土と 自然環境	〈悲しみをのりこえ て〉	下校指導	【学習活動例】 テーマ「わたしたち の防災」 地域の防災上の課題		〈明日を信じて〉	下校指導	【学習活動例】 テーマ「災害から地 域を守るために」 学習課題設定
4	集団下校訓練 防災訓練計画 第1回防災訓練 (授業中・地震火災・引き渡し)			避難訓練事前指導 〈津波から大切な命 を守ろう！〉		体：心の健康〈ふれ あうと温かくなる ね〉		避難訓練事前指導 〈想定や経験をこえ た東日本大震災 二つの大地震〉	過去の災害に学ぶ 〈兵庫県の気象と水 害 想定や経験をこ えた東日本大震災 二つの大地震〉			避難訓練事前指導 〈地震時に命を守る 避難行動〉	地域の地形 ・災害との関係
5	豪雨・台風に備えて 水泳安全指導 防犯訓練(不審者)	社：自然災害と人々 を守る行政の働き 〈さいきん時に命を救 う仕事〉 理：雨水の行方と地 面の様子〈あつとい うまにすこいなが れ〉	〈南三陸にさく「は るかのひまわり」〉 ・特産品 ・働く人々 〈さいきん時に命を救 う仕事〉		地域の人のくらし ・働く人々 ・特産品 ・働く人々 〈さいきん時に命を救 う仕事〉		〈花と水〉		地域の防災意識を高 めるために ・意識調査 ・被災体験談聞き取 り ・地域の意識を高め るためにできること		〈ぼくたちの夏〉		必要な防災力 被災時の集団生活 〈災害後の生活に求 められる「公平 さ」〉
6													
7	救急法(職員・PTA) 着衣水泳	社：地域に起こる自 然災害と日頃の備え 体：水泳		夏休みの生活		体：水泳		夏休みの生活	情報収集・整理・分 析	体：水泳		夏休みの生活	
8	防災ポスター 防災機器の点検整備 通学路の安全点検												
9	第2回防災訓練 (休学中・地震火災) 防災教育講話 防災週間				地域や学校の安全 ・防災上の工夫・取 組	社：国土の保全と国 民生活 理：天候の変化と災 害〈兵庫県の気象と 水害〉	〈何かしたい 役に 立ちたい〉	〈災害後の生活に求 められる「公平 さ」〉	子ども防災会議開催 ・地域の方に減災方 法等について発信・ 意見交流		〈仮設住宅〉	〈くしん時の判断 救った命〉	被災時の食 ・日頃からできる備 え 〈さいきん直後のこん んなな生活を乗りこ える〉
10													他地域の防災 ・修学旅行先の安全
11	ストーブの取扱い				地域の安全のために できること ・教訓や取組を引き 継ぐには 〈大津波記念碑〉	理：流れる水の働 き、河川の働きと水 害	〈ぼくは一人じゃない〉		課題解決に向けた取 組 ・防災福祉マップ作 り		〈ぼくらができるひ 災地支えん〉		
12	集団下校訓練 教職員研修 (防災教育講話)			冬休みの生活		体：けがの防止〈き ぬな空間を減らす う〉		冬休みの生活		理：土地のつくりと と変化〈二つの大地 震〉		冬休みの生活	
1	第3回防災訓練 (家庭から地域・地震) 消防署招聘 (防災器具取扱い等) 追悼式	社：〈阪神・淡路大 震災のときにも多くの 命を救った地いきの 助け合い〉	〈おばあちゃん風呂 に入りよ〉	避難訓練事前指導 〈震災コミュニケーション マップ〉	地域との交流 ・地域の方と防災福 祉マップの検証・意 見交流 ・地域へ防災福祉 マップを発信 ・防災福祉フェスティ バル開催	地域との交流 ・地域の方と防災福 祉マップの検証・意 見交流 ・地域へ防災福祉 マップを発信 ・防災福祉フェスティ バル開催	〈12時にサイレンが 町にひびいた〉 〈ふれあうと温か くなるね〉 〈何かしたい 役に 立ちたい〉	避難訓練事前指導 〈被災あうと温か くなるね〉 〈何かしたい 役に 立ちたい〉	社：自然災害からの 復旧・復興〈阪神・ 淡路大震災からの復 旧・復興〉		〈わたしにとつての 地震〉	避難訓練事前指導 〈芦屋市の小学校の 震災追悼行事〉 〈悲しみをのりこえ て〉	地域の防災意識を高 めるために ・家庭地域の人の 意識調査・分析 ・地域の防災新聞作 成
2	防災器具の点検整備 教育相談					社：〈正確な情報を 早く知る〉	〈お父さん〉		防災福祉フェスティ バル準備		〈共に支え合って〉	〈ぼくらができるひ 災地支えん〉	
3				春休みの生活				春休みの生活	防災福祉フェスティ バル開催 ・学習のまとめを地 域へ発信		〈今日は青い日〉	春休みの生活	総合探究のまとめ

ウ 中学校

※ 教科、特別の教科道徳の欄（水色セル）はP50～68の単元一覧表を参考に追記

※ 〈 〉 は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

月	1 年				2 年				3 年			
	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合
4	防災教育関連行事等 年間指導計画 校内安全点検 通学路の確認		通学路の確認 避難経路の確認 集団行動と緊急対応	【学習活動例】 テーマ「防災と安全な町づくり」			避難経路の確認 通学路の確認 集団行動と緊急対応		社：私たちと現代社 会		避難経路の確認 通学路の確認 集団行動と緊急対応	
5	校内安全点検 交通安全指導 第1回防災訓練 （火災）	〈if…『生きる』と いう時間を求めて〉 〈生かされている〉	防災訓練事前指導 日常の安全指導（不 審者対応、緊急連絡 網の確認）	地域の災害特性の調査 〈あなたは命を守れますか〉 〈地震の歴史〉			防災訓練事前指導 日常の安全指導（不 審者対応、緊急連絡 網の確認）			〈語りかける目〉	防災訓練事前指導 日常の安全指導（不 審者対応、緊急連絡 網の確認）	
6	校内安全点検 水泳安全指導		警報発令時の行動 〈大雨から命を守る ために〉	災害に備える取組 〈地震から命を守るために〉 〈津波から命を守るために〉 〈大雨から命を守るために〉 マイ避難カードの作成	保：傷害の防止〈あ なたは大切な人の命 を助けられます か？〉		警報発令時の行動 〈大雨から命を守る ために〉				警報発令時の行動 〈大雨から命を守る ために〉	
7	救急法（職員・PTA） 校内安全点検		夏休みの生活	応急手当の方法と心のケア 〈あばたは大切な人の命を助け られますか〉 〈こことからだの元氣のため に〉			夏休みの生活				夏休みの生活	
8	防災ボスター 防災機器の点検整備											
9	校内安全点検 交通安全指導	〈仲間に会えた〉	〈地域の一員として できること〉	ハザードマップの作成 〈地域の一員としてできるこ と〉	家：住居の機能と安 全な住まい方〈地震 から命を守るために 地震への備え②〉	〈きびしさの中で〉	〈地域の一員として できること〉			〈ゆれる心〉	〈地域の一員として できること〉	
10	校内安全点検	保：心の健康〈ここ とからだの元氣の ために〉		避難所体験								
11	校内安全点検		暖房器具の安全な取 り扱い	非常食の作り方 東日本大震災について 阪神・淡路大震災について	社：日本の様々な地 域〈地震の歴史〉		暖房器具の安全な取 り扱い		社：私たちと経済 からの復旧・復興		暖房器具の安全な取 り扱い	
12	校内安全点検 暖房開始 教職員研修 （防災教育講話）		冬休みの生活	避難所でのルール作り	理：気象とその変化 〈大雨から命を守る ために〉		冬休みの生活				冬休みの生活	
1	校内安全点検 第2回防災訓練 （地震防災訓練） 追悼式	理：大地の崩り立ち と変化 〈地震の歴史〉 〈地震から命を守る ために〉 〈津波から命を守る ために〉	阪神淡路大震災を振 り返る 法 〈津波発生時の避難方 法〉 〈1.17は忘れない〉 〈地震から命を守る ために〉	被災地支援活動 災害時要援護者を守る取組	〈絶対にこんなこと で死んでたまるか〉	〈響け！復興輪太 鼓〉	阪神・淡路大震災を 振り返る 法 地震発生時の避難方 法 〈あなただは命を守れ ますか？〉 〈地震の歴史〉		社：私たちと国際社 会の諸課題	〈心がひとつに〉	阪神淡路大震災を振 り返る 法 地震発生時の避難方 法 〈津波から命を守る ために〉 〈「津波でんでん こ」にこめられた家 族の思い〉	
2	防災器具の点検整備			総合探究のまとめ					理：自然と人間			
3	校内安全点検		春休みの生活				春休みの生活				春休みの生活	

エ 高等学校

※ 教科・科目の欄（水色セル）は、例が記載されている教科・科目以外でも、それぞれの特質に応じて計画・記入

※ 〈 〉 は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

月	防災教育関連行事等	教科	総合的な探究の時間	1 年	2 年	3 年	生徒会活動等
4	年間指導計画 校内安全点検 校内安全点検 通学路の確認		【学習活動例】 テーマ「地域の安全と防災」 〈安全な街づくり（に）に参画する）〉	高校に入学して 防災体制の確立 〈皆さんに考えてほしいこと〉	2年生になって 防災体制の確立	3年生になって 防災体制の確立	
5	防災設備点検整備 校内安全点検 救急法講習会	地歴：世界の地形気候と自然災害 理科：自然景観と自然災害 理科：自然の恩恵と自然災害 〈あなたは命を守れますか？〉 〈災害から命を守るために〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	防災ホームページの閲覧 〈災害から命を守るために〉	高校生の心理や行動と事故の特徴 〈あなたは命を守れますか？〉 〈あなたに命を守るために〉 〈避難行動における心理的特性〉	高校生の心理や行動と事故の特徴 〈あなたは命を守れますか？〉 〈あなたに命を守るために〉 〈避難行動における心理的特性〉	高校生の心理や行動と事故の特徴 〈あなたは命を守れますか？〉 〈あなたに命を守るために〉 〈避難行動における心理的特性〉	救急法講習会
6	校内安全点検 避難訓練 （気象災害）	地歴：地域の自然環境の特色と自然災害 理科：火山活動と地震 〈あなたは命を守れますか？〉 〈災害から命を守るために〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉 保健：応急手当	災害の種類と対応 災害時における応急救護 〈「その時」あなたは〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	地震と安全 雨の日の安全行動 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	地震と安全 雨の日の安全行動 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	地震と安全 雨の日の安全行動 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	避難訓練（気象災害）参 加
7	校内安全点検	理科：日本に見られる気象現象の特徴、災害の予測 と防災 〈災害から命を守るために〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	ボランティア活動体験 〈災害ボランティアのすすめ〉 〈支援者としての心のケアの視点〉 〈避難行動における心理的特性〉	夏休みの生活と安全 野外活動の安全 落雷の危険 〈災害ボランティアのすすめ〉 〈支援者としての心のケアの視点〉	夏休みの生活と安全 野外活動の安全 落雷の危険 〈災害ボランティアのすすめ〉 〈支援者としての心のケアの視点〉	夏休みの生活と安全 野外活動の安全 落雷の危険 〈災害ボランティアのすすめ〉 〈支援者としての心のケアの視点〉	避難訓練（火災）計画立 案
8							被災地支援活動
9	校内安全点検 避難訓練（火災） ※生徒の企画 教職員研修 （自然災害と避難所協力）	地歴：ハザードマップと自然災害への備え 〈災害から命を守るために〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	地域・ハザードマップについて 〈地域の一人としてあなたにできること〉 避難訓練の課題と改善	地震災害対策 〈「そのときあなたは①～③」〉 避難訓練の課題と改善	地震災害対策 〈「そのときあなたは①～③」〉 避難訓練の課題と改善	地震災害対策 〈「そのときあなたは①～③」〉 避難訓練の課題と改善	避難訓練（火災）実施
10	校内安全点検		防災壁新聞ポスター・パンフレット作成 〈安全な街づくり（に）に参画する）〉	事故災害時の応急手当 体育大会の安全	修学旅行の安全 体育大会の安全	事故災害時の応急手当 体育大会の安全 地域の安全活動 〈安全な街づくり（に）に参画する）〉	地域連携避難訓練におけ る地域住民との活動計画 立案
11	校内安全点検 地域連携避難訓練 （地震）	公民：防災情報の理解と活用 〈大雨による災害に備えて〉 〈避難行動における心理的特性〉 理科：地球の内部・大気・海洋に関する理解 〈あなたは命を守れますか？〉 〈災害から命を守るために〉 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	防災関連施設の見学 〈安全な街づくり（に）に参画する）〉	火災の予防とストロプの取扱い 火災の予防とストロプの取扱い 心理的特性 〈避難行動における心理的特性〉 火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	火災の予防とストロプの取扱い 火災の予防とストロプの取扱い 心理的特性 〈避難行動における心理的特性〉 火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	火災の予防とストロプの取扱い 火災の予防とストロプの取扱い 心理的特性 〈避難行動における心理的特性〉 火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	地域連携避難訓練におけ る地域住民との活動実施
12	校内安全点検		非常食の作り方 東日本大震災について 阪神・淡路大震災について 〈地震に備えて〉 〈大雨による災害に備えて〉	火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	火災予防と避難訓練 冬休みの生活と安全	被災地支援募金活動 震災追悼集会企画
1	校内安全点検 震災追悼集会	地歴：持続可能な地域づくり 〈安全な街づくり（に）に参画する）〉 家庭：防災などの安全に配慮した住居の機能、住生活や住環境の工夫	〈あの震災から学んだこと〉 〈阪神・淡路大震災からの復旧・復興〉	震災追悼活動 〈「阪神・淡路大震災」〉 光景「震災に教えられたこと」	震災追悼活動 〈「阪神・淡路大震災」〉 〈1. 17は忘れない〉	震災追悼活動 〈「神戸市立西市民病院4階」〉 〈「かあさん、頑張るよ」〉	震災追悼集会運営
2	校内安全点検	公民：政治経済の諸課題（防災と安全・安心な社会の実現）の探究 〈阪神・淡路大震災からの復旧・復興〉	総合探究のまとめ 危険の予測 地域の安全活動 〈避難行動における心理的特性〉 〈地域の一人としてあなたにできること〉	規律正しい生活 地域の安全活動 〈あの震災から学んだこと〉 〈地域の一人としてあなたにできること〉	規律正しい生活 地域の安全活動 〈あの震災から学んだこと〉 〈地域の一人としてあなたにできること〉	卒業に当たって 今年度活動の評価とまとめ	
3	校内安全点検		春休みの生活と安全 今年度活動の評価とまとめ	春休みの生活と安全 今年度活動の評価とまとめ	春休みの生活と安全 今年度活動の評価とまとめ	春休みの生活と安全 今年度活動の評価とまとめ	

オ 特別支援学校

※ 教科の欄（水色セル）は、例が記載されている教科以外でも、それぞれの特質に応じて計画・記入

※ 〈 〉は、防災教育副読本「明日に生きる」の題材名

高等学校														
中学部					高等部									
月	行事等	幼稚園	小学部	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活	総合	教科	道徳	特活
1	防災教育関連行事等	幼稚園：友だちと一緒に遊ぶ	教科：外国語活動 生活：基本的生活習慣 「食事、排便、清潔等の基本的生活習慣」	道徳	安全な登下校 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「学校で安全に過ごすために」	職・家：衣食住の生活 「衣服の着用と手入れ」	道徳	通学路の確認 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「地域で安全に過ごすために」	家庭：衣食住の生活 「衣服の選択」	道徳	通学路の確認 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「地域の安全に過ごすために」
2	年間指導計画 防災訓練計画 校内安全点検 通学路確認 避難経路確認 引き渡し訓練 教職員研修 (教員法)	人間関係：友だちと一緒に遊ぶ	生活：基本的生活習慣 「食事、排便、清潔等の基本的生活習慣」		安全な登下校 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「学校で安全に過ごすために」	職・家：衣食住の生活 「衣服の着用と手入れ」		通学路の確認 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「地域で安全に過ごすために」	家庭：衣食住の生活 「衣服の選択」		通学路の確認 避難経路の確認	【学習活動例】 テーマ「地域の安全に過ごすために」
3	校内安全点検 交通安全指導					学校の中や周りの「あぶない」を見つけよう	職・家：情報機器の			校区や地域の「危険」を見つけよう	職業：職業生活			他校との交流会 ・相互理解
4	校内安全点検 第1回防災訓練 (火災)	健康：災害時の行動の仕方		〈わたしのシロ〉	防災訓練事前指導	学校の中の「ぼうさいせつび」をさがそう 〈いのちをまもるものをさがしにいこう〉	職・家：職業生活	〈前三題にさく「はるかのひまわり」〉	防災訓練事前指導	校区や地域の「防災マップ」をつくろう 〈町のぼうさいしせつをさがそう〉	理科：物質・エネルギー 燃焼の仕組み	〈絶対に、こんなことで死んだまるか〉	防災訓練事前指導	
5	校内安全点検 教員法（職員・PTA） 着衣水泳 着衣水泳 防災機器の点検整備 教職員研修 (不審者)	環境：季節の自然 水遊び、泥遊び	体育：水遊び 〈「泳ぐ」より「うく」〉		夏休みの生活	学校の周りの「ぼうさいマップ」をつくろう	保体：水泳運動 〈「泳ぐ」より「うく」〉		夏休みの生活	他校との交流会 ・相互理解	保体：水泳 〈「泳ぐ」より「うく」〉		夏休みの生活	野外活動 ・集団生活の充実
6	校内安全点検 引き渡し訓練	人間関係：地域との交流	体育：保健 「健康な生活」	〈おぼあちゃんこれ〉	防災訓練事前指導		理科：地球・自然 雨水の行方と地面の様子	〈ぼくは一人じゃない〉	防災訓練事前指導 〈あつというまにすこいながれ〉		社会：我が国の国土の自然環境と国民生活 「災害の種類や時期、防災対策」 〈兵庫県の気象と水害〉 〈二つの大地震〉	〈仲間になえた〉	防災訓練事前指導 〈あつというまにすこいながれ〉	
7	校内安全点検	環境：季節の自然 台風のお話				他校との交流会 ・相互理解	社会：我が国の地理や歴史				理科：地球・自然 「天気の変化」 〈兵庫県の気象と水害〉 「流れる水の働きと土地の変化」			
8	校内安全点検 校外学習 第2回避難訓練 (不審者)	健康：不審者侵入時の行動の仕方	生活：社会の仕組みと公共施設 「日常的に聞かれる社会の仕組みや公共施設」	〈ありがとう〉	校外学習 避難訓練事前指導		社会：公共施設と制度 「身近な公共施設の役割」	〈おぼあちゃん風呂に入りよう〉	校外学習 避難訓練事前指導		社会：公共施設の役割と制度 「地域の公共施設の役割と必要性」	〈ゆれる心〉	校外学習 避難訓練事前指導	
9	校内安全点検 教職員研修 (防災教育講話)				冬休みの生活		職・家：衣食住の生活 「快適で安全な住まい方」		冬休みの生活		理科：物質・エネルギー 「電気の利用」		冬休みの生活	福祉施設との交流会 ・相互理解 ・ボランティア
10	校内安全点検 第3回防災訓練 (地震・津波) 追悼式	健康：災害時の行動の仕方 人間関係：地域との交流	生活：安全 「身の回りの安全」 〈じしんのときのこうどう〉 〈じしんがおきてもあわてない〉	〈水くみしたよ〉	防災訓練事前指導	「さいがい」にそなえよう	社会：地域の安全 「過去の自然災害、今後の災害への備え」 〈1.17はわすれられない〉 〈町のぼうさいしせつをさがそう〉 〈くさい雲時に命を救う仕事〉	〈悲しみを乗り越えて〉	防災訓練事前指導 〈くじしんのときのこうどう〉 〈大地しんがきた〉	「災害」に備えよう	家庭：衣食住の生活 「快適で安全な住まい方」 〈ききい雲直後のこんなな生活を乗りこえる〉	〈響け！復興備太鼓〉	防災訓練事前指導 〈地震時に命を守る避難行動〉 〈さいき雲直後のこんなな生活を乗りこえる〉	
11	防災機器の点検整備	環境：季節の自然 雪遊び					保体：保健 「体の発育・発達」 〈悲しい気持ち、こわい気持ち〉				保体：保健 「心身の発育・発達」		〈ふれあうと温くなるね〉	校外学習 ・身近な公共施設 ・防災関連施設
12	校内安全点検				春休みの生活				春休みの生活				春休みの生活	

4 防災教育に関連する単元一覧表

(1) 小学校 【学年別】

* は出版社が設定している防災に関する単元

* 区分Aは学習指導要領の目標に準ずるもの、Bは教材、題材に関連させるものや関連する活動を行うもの

【1年生】

教科	出版社	単元名 () はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	しらせたいな、見せたいな (下17～20)	B	学校で見つけた安全にかかわる物について、家の人に話す。	生活
		じどう車ずかんをつくろう (下33～35)	B	火災や事故が起こった時、人々を助ける仕事を行う車について調べ、カードを作る。	
		これは、なんでしょう (下102～105)	B	学校で見つけた安全にかかわる物から、問題を作る。	
	東京書籍	としょかんはどんなところ (上104～105)	B	震災関連の施設を見学後、どんな施設なのかを説明する本を図書館で探して読む。	
		はっけんしたよ(下38～41)	B	震災関連の施設を見学してメモを取り、メモをもとに施設の様子を伝える文章を書く。	
		おもい出してかこう(下62～65)	B	震災関連の施設を見学したことについて、書く事柄の順序を考え文章を書き、友達と読み合い交流する。	
算数	啓林館	なんばんめ (18～21)	B	救援物資を受け取る時の場面を例題に、並んでいる人の順序数や集合数を表したり、問題に答えたりする。…算①	
		なんじ なんじはん (80～81)	B	避難所での生活場面と関連付け、時計の時刻を読む。…算②	
		おおきさくらべ(1) ・ながさくらべ (82～85)	B	避難所の部屋の一边の長さや津波の高さを他の建物等と比較しながら考える。…算③	
		おおきさくらべ(1) ・かさくらべ(86～87)	B	災害への備えとして、1日に必要な飲料水や、1回分のトイレやお風呂の水のかさを比べる。…算④	
		ものと ひとの かず (124～129)	B	※ 算①に同じ	
		なんじなんぶん(144～146)	B	※ 算②に同じ	
		大きさくらべ(2) (158～159)	B	避難所での1人あたりに必要な広さを、身近な部屋等の広さと比較しながら考える。…算⑤	
	東京書籍	なんばんめ (①36～39)	B	※ 算①に同じ	
		どちらが ながい (②26～31)	B	※ 算③に同じ	
		なんじ なんじはん (②48～49)	B	※ 算②に同じ	
		どちらが おおい (②55～58)	B	※ 算④に同じ	
		どちらが ひろい (②106～107)	B	※ 算⑤に同じ	
		なんじなんぶん (②108～110)	B	※ 算②に同じ	
	生活	がっこうだいすき あいうえお ・あんしん あんぜん(1)	A	学校の周りにある避難場所や津波避難ビルなど防災施設や設備を調べる。…生①	
		いくぞ! がっこう たんけんたい ・みんなで がっこうを たんけんしよう (6～7)	A	学校探検を通して、校内にある防災防火設備について調べる。…生②	
		・がっこうの ひとと はなしてみよう (10～11)	B	教頭先生に防災設備の話聞く。…生③	
		・がっこうのあんしん あんぜん (18～19)	B	いつ起こるかかわからない災害に備え、安心・安全な生活を送るために、気をつけることを考える。…生④	特別活動
	東京書籍	がっこう だいすき ・ともだちと がっこうを たんけん しよう (16～17)	A	※ 生②に同じ	
		・がっこうにいるひととなかよくなろう (18～19)	B	※ 生③に同じ	
		・みんなであつがくろをあるこう (22～26)	B	※ 生①に同じ	
		かつどうべんりてちょう ・あんぜんにくらそう (116)	B	※ 生④に同じ	特別活動
	教育出版	わくわく どきどき しょう がっこう ・がっこうのなかをあるこう (18～23)	A	※ 生②に同じ	
		・あんぜんなせいかつ (28～29)	A	※ 生①に同じ	
		きせつとなかよし ・のはらであそぼう (48～49)	A	※ 生①に同じ	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
生活	日本文教	いちねんせいになったら ・みのまわりのあんぜん (16～17)	A	※ 生①に同じ	
		がっこうをたんけんしよう ・いろいろなところへ行ってみ よう (20～21)	A	※ 生②に同じ	
		がっこうにいるひとにあいにい こう (26～27)	A	※ 生③に同じ	
		ちえとわざのたまてばこ ・あんぜん けんこう (134～135)	A	※ 生④に同じ	特別活動
	学校図書	がっこうたんけん ・がっこうたんけん いこう (2～7)	A	※ 生②に同じ	
		・もっと くわしく しりたい な ・みんなの はっけんを きき あおう (10～13)	A	※ 生③に同じ	
		せいかつか まなびかた ずか ん ・あんぜんの ペえじ (122～124)	A	※ 生①に同じ	
音楽	教育芸術	ようすをおもいうかべよう (56～61)	B	鎮魂と希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。…音①	特別活動
	教育出版	おんがくランド ・ぜんこうがっしょう (67～68)	B	※ 音①に同じ	特別活動
図画 工作	日本文教	はこでつくったよ (上44～45)	B	ダンボールを用いてベッドや家を作り、避難所での生活を体験する。	
道徳	廣済堂あかつき	ぼんたと かんた (18～21)	B	危険を察知し、回避する行動をとった主人公の様子から、災害時においても落ち着いて行動するよさについて考える。	
		じぶんで まもる あんぜんな まい日 (32～33)	A	安全な生活を送るために、気をつけるべきことについて考える。…道①	特別活動
		みんなで つかう ばしょなの に (34～35)	A	避難所でみんなが気持ちよく過ごすためのルールについて考える。…道②	
		大すきな かぞく (48～49)	B	家族から大切にされていることを感じ、家族の一員として自分にできることを考える。	生活
	日本文教	そろって いるけど (64～67)	A	※ 道②に同じ	
		おふろばそうじ (84～85)	B	災害時において、自分の役割を果たすことの大切さについて考える。…道③	生活
		はしれ、さんりくてつどう (118～121)	A	災害に負けず立ち上がろうとする人々の思いを感じ取り、自分たちの町の取組について考える。	
		休みじかん (122～25)	A	※ 道①に同じ	特別活動
	光村図書	どうして こうなるのかな (24～25)	A	※ 道②に同じ	
		きゅうしょくとうばん (96～99)	A	災害時において、みんなのために働くことの大切さについて考える。…道④	特別活動
		みんなが つかう ばしょだ から (127～131)	A	※ 道②に同じ	
		きまりをまもらないと (132)			
	東京書籍	ぼくの しごと (39～41)	A	※ 道④に同じ	特別活動
		みんなの ボール (78～79)	A	※ 道②に同じ	
		いのちが あって よかった (94～97)	A	命の大切さと生きていることに感謝し精一杯生きる ことについて考える。	
	学研教育みらい	ぼくは きゅうしょくとうばん (20～21)	A	※ 道④に同じ	
		はやとのゴール (22～25)	A	ボランティア活動を通して、共に助け合う「共助」 について考える。	特別活動
		みんなあかちゃんだったよ (36～39)	A	命の大切さ、素晴らしさについて考える。…道⑤	生活
		おかしく ないかな (44～47)	A	※ 道②に同じ	
		じしんが おきて (118～121)	A	被災地の人々のために、できることを考える。	特別活動
	教育出版	おふろばそうじ (25～27)	B	※ 道③に同じ	
		いのちの はじまり (44～45) 生きている じぶん (46～47)	A	※ 道⑤に同じ	生活
		おとうさん ありがとう (80～83)	A	家族に守られているへ感謝し、まわりの助けが嬉し かった時のことを考える。	生活

【2年生】

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	ともだちをさがそう (上34～37)	B	教材として、避難所での様子を表した絵を用いて、災害時の大切な行動について考え、友だちと話し合う。	
		かんさつ名人になろう (上52～57)	B	観察するポイントを活用し、学校で見つけた安全に関する設備や物について、文章にまとめる。	生活
		うれしいことば (上60～61)	B	災害時の人々の様子を例にして、どんな言葉で声を掛けたらよいか考える。	
		メモをとるとき (上78～79)	B	学校で見つけた安全に関する設備や物についてメモに取り、友達と読み合う。	生活
		こんなもの、見つけたよ (上80～85)	B	町探検で見つけた防災に関する施設について、組み立てを考えて文章を書く。	生活
		あったらいいな、こんなもの (上86～89)	B	災害から命を守る道具を考えて絵に描き、友達と質問し合う。	
		そうだんにのってください (下34～38)	B	防災に関するテーマを考え、グループで話し合う。	
	東京書籍	本でしらべよう (下23～25)	B	避難所について本で調べ、知りたいことが書かれているところをノートに書き写す。	
		ことばあつめ (下42)	B	避難訓練の写真を見て、身近な人がしていることを文に表す。	特別活動
		いろはかるた (下104～105)	B	防災に関する備えや地震についてのかるたを作る。	
算数	啓林館	時こくと時間 (上16～23)	B	避難所での1日の生活と関連付け、時計の時刻や時間を読む。…算①	
		かさ (上88～95)	B	災害への備えとして、1日に必要な飲料水や、1回分のトイレやお風呂の水の量からかさについて考える。…算②	
		かけ算 (下2～41)	B	避難所での配布物資の数等を用いた計算問題を解く。…算③	
	東京書籍	水のかさのたんい (上69～77) 水のかさをはかってあらわそう (上69～77)	B	※ 算②に同じ	
		何時何分かな? (上79) 時計を生活に生かそう (上79～83)	B	※ 算①に同じ	
		かけ算① 新しい計算を考えよう (下2～28)	B	※ 算③に同じ	
		九九をつくろう (下29～50)			
生活	啓林館	とび出せ! 町のたんけんたい ・町たんけんの計画を立てよう (30～31)	A	町探検を通して、避難経路や危険な場所を確認したり、海拔を調べたり、防災施設や防災標識等を探したりする。…生①	
		かくしゅうずかん ・町のくふうを見つけよう (120～121)	A	安全を守るための標識について調べる。…生②	特別活動
		・あんしん あんぜん (128)	A	地震、火事、津波の時の避難行動を考える。…生③	
	東京書籍	春だ 今日から 2年生 ・まちのあんぜん (8)	A	※ 生②に同じ	生活
		どきどき わくわく まちたんけん (23～32)	A	※ 生①に同じ	
		みんなであつかう まちの しせつ ・みんなであつかうしせつのことを話し合おう (64～65)	A	避難所等、公共施設の役割について調べる。…生④	生活
		みんなであつかう まちの しせつ ・まちのくふう (70)	A	※ 生②に同じ	生活
		かつどうべんりてちょう ・あんぜんにくらそう けんこ	A	※ 生③に同じ	
	教育出版	まちが 大すき たんけんたい ・たんけんにてかけよう ・みんなのための場しょをさがそう (30～33)	A	※ 生①に同じ	
		・わたしのまちのくふう (44)	A	※ 生②に同じ	
		学びのポケット ・おぼえて あんぜん (134～135)	A	※ 生③に同じ	特別活動
	日本文教	町たんけん1ーみんながあつかう 場所へ行こう (10～21)	A	※ 生①②④に同じ	
		ちえとわざのたまてばこ ・あんぜん けんこう (124～125)	A	※ 生③に同じ	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
生活	学校図書	まちたんけん (2～15)	A	※ 生①②④に同じ	
		生活科学び図かん ・あんぜんのページ (120)	A	※ 生③に同じ	特別活動
音楽	教育芸術	ようすをおもいうかべよう (50～57)	B	鎮魂と希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。…音①	特別活動
	教育出版	音楽ランド ・ぜん校合しょう (67～69)	B	※ 音①に同じ	特別活動
図画 工作	日本文教	しんぶんしとなかよし (下18～19)	B	新聞紙を使って避難所生活に役立つものを作る。	
		だんボールに入ってみると！？ (下44～45)	A	ダンボールを用いてベッドや家を作り、避難所での生活を体験をする。	
道徳	廣済堂あかつき	みんなが 気もちよく (10～11)	A	避難所でみんなが気持ちよく過ごすためのルールについて考える。…道①	
		自分でまもるよ自分のあんぜん (40～41)	A	安全な生活を送るために、気をつけるべきことを考える。	特別活動
		こんなとき どう するの (96～97)	A	共に助け合うために、自分ができていることを考える。…道②	
	日本文教	ぼんたとかんた (10～13)	B	危険を察知し、回避する行動をとった主人公の様子から、災害時においても落ち着いて行動するよさについて考える。…道③	
		本がかりさん がんばって いる ね (14～17)	A	災害時でもみんなのために働くことの大切さについて考える。…道④	特別活動
		あぶないよ (42～43)	A	毎日の生活の中で、事故や事件に巻き込まれないためにできることを考える。	特別活動
		花火にこめられたねがい (54～57)	A	地域の祭りや地震からの復興を願う取組について考える。	
		やくそく (110～111) いのちの たいせつさに ついて 考えて みよう (112～113)	A	命の大切さと生きていることに感謝し、命を守るためにできることを考える。	
	光村図書	どうしてきまりが あるのかな (16～18)	A	※ 道①に同じ	
		しょうかいします (19～21)	A	学校にある防災施設等を調べ、見つけた施設を友だちに紹介する。	生活
		びかびかがかり (120～123)	A	※ 道④に同じ	特別活動
		空色の自転車 (146～149)	A	生きていることに感謝し、かけがえのない自分の命について考える。	
	東京書籍	じぶんで オッカー (10～12)	A	自分の成長を感じ、自分一人のできることを考える。	生活
		くまくんの たからもの (13～15)	A	※ 道②に同じ	
		ながい ながい つうがくろ (74～76)	A	町探検で避難経路や危険な場所を確認したり、防災施設等を探したりして、防災・減災に関する地域の取組を確認する。…道⑤	生活
		いま、ぼくに できる こと (111～113)	A	※ 道④に同じ	特別活動
	学研教育みらい	みつけたよ (38～41)	A	※ 道⑤に同じ	生活
		森のみんなと (52～55)	A	※ 道④に同じ	特別活動
		たからものなあに (86～89)	A	地震や津波の被害等を調べ、命の大切さについて考える。	生活
		ころきちのバイオリン (124～127)	B	被災したころきちが自然の営みに触れ、バイオリンを弾き始めた時の気持ちを考える。	生活 音楽
	教育出版	よいのかな (16～19)	A	※ 道①に同じ	
		ぼんたとかんた (70～74)	B	※ 道③に同じ	
		おむかえ (78～82)	B	家族から大切にされていることを感じ、災害が発生した時に自分にできることを考える。	
		ゆかみがき (100～103)	A	※ 道④に同じ	特別活動

【3年生】

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	仕事のくふう、見つけたよ (上92～97)	B	消防署で働く人に話を聞き、災害時の共助について調べる。… 国①	社会
		山小屋で三日間すごすなら (上116～117)	B	非常持ち出し袋に入れる物について話し合い、日頃の備えについて考える。	
		つたわる言葉で表そう (下105～108)	B	防災訓練について、相手に伝わる文章を書く。… 国②	特別活動
	東京書籍	メモを取りながら話を聞こう (上50～53)	B	※ 国① に同じ	社会
		調べて書こう、わたしのレポート (上56～61)	B	阪神・淡路大震災等の発災時の様子を調べ、レポートにまとめる。	
		言葉でつたえ合う (下82～86)	B	※ 国② に同じ	特別活動
社会	日本文教	わたしたちの住んでいるところ (8～41)	B	学校のまわりを探検し、地図に避難所や防災関連施設を書き込むなど、身近な地域の防災に関する様子をまとめる。… 社①	
		わたしたちのくらしとまちでは たらく人びと (42～89)	B	スーパーマーケットの見学の際に、非常食や防災用品も販売されていることを調べる。… 社②	
		安全なくらしを守る (90～123)	A	消防署や地域の人々による地域の安全を守る取組を調べ、考えたことを発表する。… 社③	
	東京書籍	わたしのまちみんなのまち (6～35)	B	※ 社① に同じ	
		はたらく人とわたしたちのくらし (36～91)	B	※ 社② に同じ	
		くらしを守る (92～121)	A	※ 社③ に同じ	
	教育出版	わたしたちのまちと市 (4～41)	B	※ 社① に同じ	
		はたらく人とわたしたちのくらし (42～91)	B	※ 社② に同じ	
		地いきの安全を守る (92～125)	A	※ 社③ に同じ	
算数	啓林館	時こくと時間 (上52～57)	B	地震発生から津波到達までの想定時間をもとに、津波が到達する時刻を調べる。… 算①	
		一万をこえる数 (上58～73)	B	震災の被害に関する数字から、一万をこえる大きな数の表し方を調べる。… 算②	
	東京書籍	時こくと時間のもともめ方 時こくと時間のもともめ方を考えよう (上27～33)	B	※ 算① に同じ	
		大きい数のしくみ 10000より大きい数を調べよう (上84～97)	B	※ 算② に同じ	
理科	啓林館	風とゴムの力のはたらき (42～53)	B	風の力を調べる導入において、台風等自然現象で起こる風についても調べる。… 理①	
		光のせいしつ (100～111)	B	鏡や虫眼鏡を使って日光を集め、加熱したり着火したりすることを通して、防火について考える。… 理②	
		電気で明かりをつけよう (112～123)	B	導入時に日常生活で利用している明かりと合わせ、被災時の明かりについて考える。… 理③	
	教育出版	風やゴムの力 (54～65)	B	※ 理① に同じ	
		光 (120～131)	B	※ 理② に同じ	
		電気の通り道 (154～169)	B	※ 理③ に同じ	
	東京書籍	風やゴムで動かそう (48～59)	B	※ 理① に同じ	
		太陽を調べよう－2 太陽の光を調べよう (94～105)	B	※ 理② に同じ	
		明かりをつけよう (126～137)	B	※ 理③ に同じ	
音楽	教育芸術	春の小川 (10～11)	B	身近な自然の美しさを感じ、大切にしたい気持ちで歌う。	
		ふじ山 (38～41)	B	自然に対する畏敬の念をもって歌う。… 音①	
	教育出版	小さな世界 (2～3)	B	人と人が手を取りあっている気持ちをもって歌う。	
		ふじ山 (40～42)	B	※ 音① に同じ	
図画 工作	日本文教	音楽ランド ・全校合しょう (67～69)	B	鎮魂と希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。	特別活動
		ふき上がる風にのせて (上20～21)	B	作品を風のにせて飛ばすことで、風の力について考える。	理科

教科	出版社	単元名 () はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
体育	東京書籍	けんこうによいかんきょう (19～23)	B	震災時の避難所においても健康に過ごすために身の回りの環境をどう整えるのかを考える。…体①	特別活動
	学研教育みらい	身の回りのかんきょう (14～15)	B	※ 体①に同じ	特別活動
	光文書院	身の回りのかんきょう (18～19)	B	※ 体①に同じ	特別活動
道徳	廣済堂あかつき	やくそくやきまりを守って (13～15)	A	震災時だけでなく、平素から約束やきまりが作られた理由とそれを守ることの大切さを考える。	
		電池が切れるまで (30～31)	A	かけがえのない限られた生命を精一杯生きていくために自分ができることを考える。…道①	
		ぼくがいるよ (51～53)	B	病気の母を支える男の子の姿を通し、協力していくことの大切さについて考える。	
		近くの火事(87～89)	B	正しいと思ったことを自信をもって行うことの大切さについて考える。	
	日本文教	お父さんからの手紙(76～81)	A	周りの多くの人の支えによって守られ、育まれている尊い生命を大切にするために、どのようなことに気をつけたいかを考える。…道②	
		助かった命 (128～131) 地しんがおきたら (132～133)	A	地震が起きた時に命をどう守っていくのか考える。	
	光村図書	きまりのない国 (79～81)	A	平素から約束やきまりが作られた理由について考え、それを守ることの大切さや震災時において守らなければならないルールについて考える。…道③	
		大切なものは何ですか(88～90)	A	命を大切にするためにどんなことができるか考える。	理科
		ありがとうの気持ちをこめて (163～167)	A	震災直後の警察官等への挨拶をもとに、自分たちの生活を支えてくれる人にはどんな人がいるか考える。	
	東京書籍	ヌチヌグスージ (いのちのまつり) (18～21)	A	過去からつながっている生命の尊さについて考える。	
		きまりじゃないか (37～39)	A	※ 道③に同じ	
		一さつのおくりもの(58～61)	A	相手のことを思いやり、親切にいていくことの大切さをについて考える。	
		いただいたいのち(86～90)	A	※ 道②に同じ	
		おじいちゃん、おばあちゃん、 見ていてね(132～135)	A	※ 道①に同じ	
	学研教育みらい	ひきがえるとろば(48～51)	A	命あるもの全ての大切さに気づき、様々な生命を大切にすることについて考える。	
		六さいのおよめさん(72～77)	A	※ 道①に同じ	
		心をつないだ合い言葉(94～96)	A	自分の住んでいる地域は、そこに住むたくさんの人々が郷土を大切に思う気持ちで守られてきたことに気づき、ふるさとの大切さについて話し合う。	社会
		わらじ作り (110～112)	A	他の人のために自分ができることをすることの大切さについて考える。	特別活動
		かねつきどう (122～125)	A	正べえのように地域を支える人々に感謝し、その働きについて考える。	
		思いをこめて(134～137)	B	地震によって繋がった熊本県とネパールの事例から、国が違う人々との支え合いの中で心がつながるよさについて考える。	
	教育出版	光祐くんのアサガオ(102～105)	A	※ 道①に同じ	
		新聞係 (107～109)	A	※ 道③に同じ	



【4年生】

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	聞き取りメモのくふう (上40～45)	B	災害時の取組について、消防署の方の説明を聞いたり、確かめたいことを質問したりする。… 国①	社会
		新聞を作ろう (上88～97)	B	災害時の取組など防災に関する事柄について調べたことを新聞にまとめて発表する。… 国②	社会
		もしものときにそなえよう (下105～111)	B	災害への備えについて調べ、考えを文章にまとめて発表する。	社会 理科
	東京書籍	たしかめながら話を聞こう (上46～51)	B	※ 国① に同じ	社会
		みんなで新聞を作ろう (上52～57)	B	※ 国② に同じ	社会
社会	日本文教	自然災害から人々を守る活動 (70～103)	A	過去に発生した地域の災害を調べ、災害から人々を守る活動についてまとめる。… 社①	理科
	東京書籍	自然災害からくらしを守る (76～99)	A	※ 社① に同じ	理科
	教育出版	自然災害にそなえるまちづくり (82～115)	A	※ 社① に同じ	理科
算数	啓林館	面積 (下2～19)	B	避難所で生活する際の一人分のスペースについて面積を計算したり、広さを体感したりする。… 算①	
	東京書籍	面積のはかり方と表し方 広さの表し方を考えよう (下62～81)	B	※ 算① に同じ	
		算数で読み解こう (下122～123)	B	防災に関することを調べたデータから、必要な情報を読み解く。	社会
理科	啓林館	天気と1日の気温 (18～25)	B	大雨や台風の日々の気温に変化を予想し、調べる。… 理①	
		地面を流れる水のゆくえ (26～31)	A	水がしみこんだ土地での災害について調べる。… 理②	社会
		とじこめた空気や水 (74～85)	B	押し縮めた空気の力を使って水が発射される消防器具の働きを調べる。… 理③	
	教育出版	天気よる気温の変化 (24～37)	B	※ 理① に同じ	
		雨水と地面 (86～97)	A	※ 理② に同じ	社会
		とじこめた空気や水 (112～123)	B	※ 理③ に同じ	
	東京書籍	天気と気温 (30～39)	B	※ 理① に同じ	
		雨水のゆくえと地面のようす (54～65)	A	※ 理② に同じ	社会
		とじこめた空気と水 (118～127)	B	※ 理③ に同じ	
音楽	教育芸術	いろいろなリズムを感じ取ろう (18～25)	B	言葉と旋律を組み合わせ、災害時でも元気が出るようなリズムアンサンブルを考える。… 音①	
	教育出版	ひょうしとせんりつ (16～23)	B	※ 音① に同じ	
		音楽ランド ・全校合唱 (69～71)	B	鎮魂と希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。	特別活動
図画 工作	日本文教	ここにいたい (下10～11)	B	段ボールベットを組み立てたり、段ボールで仕切りを作ったりして、避難所での生活を体験する。	
		カードでつたえる気持ち (下42～43)	B	自分でつくったカードに被災した方を励ますメッセージを書いて送る。	国語 特別活動
体育	東京書籍	よりよく成長するための生活 (37～40)	B	避難所等慣れない環境で生活を送らなければならない時の上手な休養・睡眠の仕方について調べる。… 体①	特別活動
		資料 外で遊ぶときに注意すること (44)	B	自然災害や緊急事態発生時にどのように行動すればよいかを考える。… 体②	
	学研教育みらい	よりよい発育・発達のために (30～33)	B	※ 体① に同じ	特別活動
		安全な生活のために② (36)	B	※ 体② に同じ	
	光文書院	よりよい発育のために (34～37)	B	※ 体① に同じ	特別活動

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
道徳	廣済堂あかつき	お母さん泣かないで (25～27)	A	かけがえのない生命を精一杯生きていくために自分ができることを考える。…道①	
		わり切れない気持ち (58～59)	A	みんなのために働くことのよさや大切さに気付き、避難所の生活ではどのようなことができるか考える。…道②	特別活動
		ふるさとにとどけ、希望の舞ー羽生結弦ー (110～113)	A	震災で傷ついたふるさとの人々を元気付けたいという羽生選手の思いに共感し、地域のためにできることを考える。	特別活動
		きけんから自分自身を守るために (126～127)	A	学校や家で地震が起きた時の避難行動について考える。	特別活動
	日本文教	あなたの時間にいのちをふきこめば (4～7)	A	※ 道①に同じ	
		お父さんのじまん (114～119)	A	地域を災害から守る先人の取組と、それを受け継いできた人々の努力に気付き、地域のためにできることを考える。	社会 特別活動
		ネコの手ボランティア (138～141)	A	避難所でどんなボランティア活動がしたいかを考える。	特別活動
		にぎりしめたいね (166～169)	B	考えの違う人と共生するために大事なことを考える。	
	光村図書	おじいちゃんのごらくごらく (168～173)	A	死を通して生命の尊さに気付き、阪神・淡路大震災の遺族の思いを考える。	
		神戸のふっこうはぼくらの手で (178～181)	A	避難所で小学生が小さい子に読み聞かせをしたように、みんなのためにできることを考える。…道③	特別活動
	東京書籍	「もっこ」をせおって (50～53)	A	地域の人に避難物資を運んだ小学生のように、みんなの「役に立ちたい」と思って働いた経験を話し合う。	特別活動
		走れ江ノ電光の中へ (130～134)	A	※ 道①に同じ	
		ポロといっしょ (140～143)	A	避難所での助け合いについて考える。	
	学研教育みらい	わたしのいのち (90～92)	A	生きていることに感謝し、限りある自分の命について考える。	
		神戸のふっこうはぼくらの手で (116～118)	A	※ 道③に同じ	特別活動
	教育出版	かっこいいせなか (62～66)	A	※ 道②に同じ	特別活動
		希望と勇気をうたにのせてー東北うたの本ー (154～155)	A	東日本大震災の被害を調べ、被災地の復興を支援する取組について考える。	特別活動



阪神・淡路大震災で倒壊した家屋

【5年生】

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	目的に応じて引用するとき (70～71)	B	水害を防ぐ森林の働きを示した例文をいかし、防災に関する情報を収集したり、文書にまとめたりする。	社会
		みんなが過ごしやすい町へ (72～77)	B	災害等が発生した場合、だれもが安全に避難等を行えるような町づくりの工夫について考える。	社会
		やなせたかしーアンパンマンの 勇気ー (162～173)	B	やなせたかし氏の考えや活動から、被災した人々の気持ちを支えるために、自分ができることを考える。	
	東京書籍	新聞記事を読み比べよう (80～88)	B	震災関連の記事について書き方の違いを調べ、それぞれの伝わり方について考える。	
社会	日本文教	日本の地形や気候 (18～27)	A	日本の山地や平地、川や湖にはどのような特色があるのか調べる。…社① 日本の気候の特色を調べ、梅雨や台風、季節風にはどのような特色があるのかまとめる。…社②	
		さまざまな土地の暮らし (28～63)	A	低い土地でくらす人々の生活の様子や産業について調べる。…社③ 高い土地でくらす人々の生活の様子や産業について調べる。…社④	
		情報を生かして発展する産業 (208～221)	B	気象情報がくらしや産業にどのように活用されているのかを調べる。	特別活動
		自然災害から人々を守る (264～277)	A	地震、津波、風水害等の自然災害について調べ、被害を減らすための取組についてまとめる。…社⑤	特別活動
	東京書籍	国土の地形の特色 (上16～21)	A	※ 社①に同じ	
		低い土地の暮らし (上22～31)	A	※ 社③に同じ	
		高い土地の暮らし (上32～41)	A	※ 社④に同じ	
		国土の気候の特色 (上42～47)	A	※ 社②に同じ	
		情報を生かすわたしたち (下90～97)	B	ルールやマナーを守り、上手に情報を活用する方法を考える。…社⑥	特別活動
		自然災害を防ぐ (下100～111)	A	※ 社⑤に同じ	特別活動
	教育出版	国土の気候と地形の特色 (18～25)	A	※ 社①・②に同じ	
		自然条件と人々の暮らし (26～57)	A	※ 社③・④に同じ	
		情報を伝える人々とわたしたち (172～185)	B	※ 社⑥に同じ	特別活動
		自然災害とともに生きる (204～215)	A	※ 社⑤に同じ	特別活動
算数	啓林館	面積 (129～149)	B	災害の被害区域、被害想定区域等の広さを求める。避難所での1人当たりの面積を求める。…算①	社会
		平均とその利用 (151～157)	B	降雨量、降雪量等の平均を出す。歩幅を使って避難所までの距離や海からの距離等を調べる。…算②	社会 理科
		単位量 (159～163)	B	避難所での1人当たりの面積を求め、混み具合を比べる。季節ごとに1日当たりの降雨量を比べる。…算③	理科
		割合のグラフ (201～209)	B	災害への意識や備え等について調査し、結果を帯グラフや円グラフでまとめる。…算④	社会
		速さ (221～227)	B	津波の速さを求めたり、到達時間を予測したりする。…算⑤	社会
		変わり方 (229～241)	B	走って避難した場合、津波に何分後に追いつかれる可能性があるかを表に書いて考える。	社会
	東京書籍	平均 ならした大きさを考えよう (下20～27)	B	※ 算②に同じ	社会 理科
		単位量あたりの大きさ 比べ方を考えよう (1) (下28～42)	B	※ 算③・⑤に同じ	社会 理科
		四角形と三角形の面積 面積の求め方を考えよう (下44～64)	B	※ 算①に同じ	社会
		帯グラフと円グラフ 割合をグラフに表して調べよう (下84～94)	B	※ 算④に同じ	社会 家庭

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
理科	啓林館	天気の変化（１）台風と気象情報（52～59）	A	台風の動きや台風が近づいてきたときの天気の様子を調べる。…理①	
		天気の変化（２）雲と天気の変化（80～95）	A	雲の様子と天気の変わり方を調べ、天気の変化についてまとめる。…理②	
		流れる水のはたらき（96～113）	A	流れる水のはたらきと土地の変化について調べ、災害からくらしを守る工夫についてまとめる。…理③	社会
		ふりこのきまり ・つなげよう（131）	B	地震の備えとして、世界最大のつり橋である明石海峡大橋のふりこを使ったゆれをおさえるしくみについて調べる。	
	教育出版	天気の変化（10～25）	A	※ 理②に同じ	
		台風に備えて（74～85）	A	※ 理①に同じ	
		流れる水と土地（118～139）	A	流れる水のはたらきと土地の変化について調べる。	
		川と災害（140～147）	A	ダムや遊水池、堤防や護岸のような川の災害を防ぐ工夫を調べ、まとめる。	
		気象ミニずかん ・防災気象情報（228）	B	気象災害が発生するおそれのある時に、気象庁から発表される防災気象情報について調べる。	特別活動
	東京書籍	天気を予想しようー１ 天気の変化（7～19）	A	※ 理②に同じ	
		天気を予想しようー２ 台風と天気の変化（64～71）	A	台風の動きや台風が近づいてきたときの天気の様子を調べる。 暮らしに影響を及ぼす災害から生命を守るためにできることを考える。	社会
		流れる水のはたらき（72～95）	A	※ 理③に同じ	社会
		理科の調べ方を身につけよう ・理科室の使い方（166）	B	理科室で実験中に地震が起きた時の対応を考える。	
音楽	教育芸術	いろいろな弦楽器（22～23）	B	仙台フィルハーモニー管弦楽団神谷未穂さんの東日本大震災の被災体験から音楽がもつ様々な力について考える。	
	教育出版	音楽ランド ・全校合唱（69～71）	B	大震災の鎮魂と復興への希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。	特別活動
図画工作	日本文教	絵の具スケッチ（上8～9）	B	被災から復興に向かっていく故郷のまちを描く。	社会
		カードを使って（上6～17）	B	自分でつくったカードに被災した方を励ますメッセージを書いて送る。	国語 特別活動
		形や色に思いをこめて（上56～57）	B	災害による被害からの復興を願う等、自分の思いを絵画やデザインで描く。 災害からの復興等を願って描かれた絵画作品を見て、作者の思いを想像する。 「津なみひなんビル」や「落石のおそれあり」の標識を見て、何を伝えるための標識なのかを想像する。	国語 特別活動
家庭	東京書籍	私の生活、大発見 ・ガスコンロの使い方（10～11）	B	ガスコンロを使って湯を沸かす。 ガスコンロ使用中に地震が起きたときの対処方法を考える。…家①	理科
		ひと針に心をこめて ・日々の備え 針と糸（30）	B	防災用品として役立つものを考える。…家②	
		持続可能な暮らしへ 物や金の使い方 ・この表示、どんな意味？（39）	B	防災ラベルについて知り、家や学校で探す。	図画工作
		食べて元気！ご飯とみそ汁 ・日々の備え なべでたくごはん（43） ・ご飯とみそ汁を作ろう（41～45）	B	なべを使ってガスでごはんを炊く。…家③ 災害時の炊き出しや非常食について考える。…家④	理科
		物を生かして住みやすく ・日々の備え（52）	A	日々の整理整頓がすばやく安全な避難につながることに考える。…家⑤ 家具や電化製品等の固定について考える。…家⑥ 非常持ち出し袋の中身を考えたり、家の非常持ち出し袋を確認したりする。…家⑦	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
家庭	開隆堂	クッキング はじめの一步 ・こんろを安全に使うには (12～13)	B	※ 家①に同じ	理科
		ソーイング はじめの一步 ・どのような用具や方法でぬう のだろう (21)	B	※ 家②に同じ	
		整理整とんで快適に ・なぜ整理整とんをするのだろ う (28～29)	B	※ 家⑤・⑥に同じ	
		家庭で実践しよう チャレンジ コーナー (37)	B	※ 家⑦に同じ	
		食べて元気に ・ご飯をたいてみよう (50～51) ・みそしるを作ってみよう (52～53)	B	※ 家③・④に同じ	理科
		暖かく快適に過ごす着方 (64～67) 暖かく快適に過ごす住まい方 (68～71)	B	寒い季節の避難生活について、必要な物や過ごし方 の工夫等を考える。	理科
体育	東京書籍	心と体のつながり (9～12)	A	心と体の関係性について、自身の経験等をもとにし ながら考えたり、心の健康を保つ方法を調べたりす る。…体①	
		不安やなやみがあるとき (13～18)	A	不安や悩みへの対処法やその効果等を調べる。 …体②	
		自然災害によるけがの防止 (38～40)	A	地震等の自然災害が発生した時に自分の身を守る行 動を考え、「行動マニュアル」を作成する。…体③ 身の回りに潜んでいる危険を知り、日ごろからでき る対策や備えを考える。…体④	特別活動
		けがの手当 (41～46)	A	けがの手当について、状況に応じた適切な処置を理 由とともに考える。…体⑤	
	学研教育みらい	心と体のつながり (10～11)	A	※ 体①に同じ	
		不安やなやみへの対処 (12～17)	A	※ 体②に同じ	
		自然災害や緊急事態に備えて (28～29)	A	※ 体③・④に同じ	特別活動
		けがの手当 (30～31)	A	※ 体⑤に同じ	
	光文書院	心と体の関わり (12～15)	A	※ 体①に同じ	
		不安やなやみなどへの対処 (16～19)	A	※ 体②に同じ	
		けがの手当 (32～35)	A	※ 体⑤に同じ	
		自然災害から身を守る (36～37)	A	※ 体③・④に同じ	特別活動
英語	東京書籍	学び方みつけた 2 (36)	B	防災に関連する標識で使用されている単語やアル ファベットを調べる。	
		Unit 4 He can bake bread well. (38～45)	B	非常時に家族の情報を分かりやすく伝える方法を考 える。…英①	
		Unit 5 Where is the post office? (46～51)	B	災害時を想定し、避難所等への行き方を尋ねたり、 伝えたりする方法を考える。…英②	
		Unit 5 ・世界の地図や標識について 考えよう。 (52～53)	B	世界の標識と関連付けて、様々な防災標識を調べ る。…英③	
	光村図書	Unit 8 Where is the gym? (96～103)	B	※ 英②に同じ	
	三省堂	Lesson 2 I can jump high. Part 1 実世界の英語 世界の 標識 (28～29)	B	※ 英③に同じ	
		Try 道案内 (86～87)	B	※ 英②に同じ	
	教育出版	Let's Read and Act① (44)	B	災害時の避難行動等で使う英語表現を調べる。	
		Lesson 8 Where is the station? (92～101)	B	※ 英②に同じ	
	開隆堂	Lesson 5 Where is your treasure? (38～47)	B	※ 英②に同じ	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
英語	啓林館	Unit 5 This is my sister. (52～60)	B	※ 英①に同じ	
		Unit 7 Where's the park? Part2,3 (78～82)	B	※ 英②に同じ	
道徳	廣済堂あかつき	その思いを受けついで (91～95)	A	死を通して生命の尊さに気付き、阪神・淡路大震災の遺族の思いを考える。	
		木造校舎の思い出をむねに (142～143)	A	災害に負けず立ち上がろうとする人々の思いを読み取り、自分にできることを考える。…道①	特別活動
		わたしたちにできる ボランティア活動 (152～153)	A	地域のボランティア活動等について調べるとともに、自分にできる活動を考える。…道②	特別活動
	日本文教	サタデーグループ (42～45)	A	※ 道②に同じ	特別活動
		「太陽のようなえがお」が命をつなぐ (176～179)	A	命のつながりと生きていることに感謝し、精一杯生きることについて考える。…道③	特別活動
	光村図書	自分の身は自分で守る (78～81)	A	災害が発生した時に、自分の身を守るためにとるべき行動を考える。	体育 特別活動
		クール・ボランティア (120～123)	A	※ 道②に同じ	特別活動
		おばあちゃんからもらった命 (181～185)	A	※ 道③に同じ	
	東京書籍	わたしのボランティア体験 (96～100)	A	※ 道②に同じ	
		大きなじこをよぶ「ヒヤリ・ハット」 (134～137)	A	安全な生活、日ごろからの備えについて考える。…道④	体育 特別活動
		一本松は語った (151～155)	B	災害に負けず立ち上がろうとする人々の思いを考える。	特別活動
	学研教育みらい	ぬぎすてられたくつ (14～17)	A	※ 道④に同じ	体育 特別活動
		復興への願い フェニックス (62～65)	A	地域の祭りや地震からの復興を願う取組について考える。	社会
		うばわれた自由 (66～68)	B	避難所でみんなが気持ちよく過ごすためのルールについて考える。…道⑤	
		UDって何だろう (100～103)	A	生活の中のUDを調べることを通して、災害弱者への配慮を考える。	
		この思いをフェルトペンにたくして (140～143)	A	災害時でも自分の役割を果たすことの大切さについて考える。	特別活動
		二十分間の出来事 (144～147)	A	災害発生時の避難や命の重さについて考える。…道⑥	特別活動
	教育出版	ある朝のできごと (18～21)	A	※ 道④に同じ	体育 特別活動
		図書館はだれのもの (76～78) ルールを守る (79～81)	A	※ 道⑤に同じ	
		稲むらの火 (86～89)	A	※ 道⑥に同じ	理科 特別活動



【6年生】

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
国語	光村図書	地域の施設を活用しよう (34～35)	B	地域の施設を活用し、過去に発生した災害等を調べ、地域防災の取組を考える。	社会
	東京書籍	防災ポスターを作ろう (52～57)	B	防災に関する情報を収集・整理し、分かりやすく伝えるよう書き方等を工夫してポスターを作成する。	図画工作
		町の幸福論ーコミュニティデザインを考えるー (140～155)	B	非常時に人々が助け合えるような町づくりについて、様々な事例を調べ、自分のデザインを考える。	社会
社会	日本文教	自然災害からの復旧や復興の取り組み (38～43)	A	災害が起きた時に国や都道府県、市区町村はどのような取組を行っているのかを調べる。…社①	特別活動
		国力の充実をめざす日本と国際社会 ・キーワード 関東大震災	B	関東大震災について調べる。…社②	
	東京書籍	震災復興の願いを実現する政治 (政治・国際編 46～57)	A	※ 社①と同じ	特別活動
		世界に歩み出した日本 ・首都圏をおそった関東大震災 (歴史編 125)	B	※ 社②と同じ	
	教育出版	災害からわたしたちを守る政治 (48～55)	A	※ 社①と同じ	特別活動
		近代国家を目ざして ・コラム 関東大震災 (195) 災害の歴史から考えよう (198)	B	関東大震災について調べ、その復興に尽力した人物の功績をまとめる。	
算数	啓林館	資料の調べ方 (72～87)	B	年ごとの降水量、降雪量等をグラフに表し、変化の様子を調べる。…算①	社会 理科
		円の面積 (94～103)	B	災害の被害区域、被害想定区域等の面積を求める。…算②	社会
		図形の拡大と縮小 (128～143)	B	校区の防災マップを必要に応じて拡大したり縮小したりする。地図を使い、避難所までの距離、海や川からの距離を調べる。…算③	社会
		およその形と大きさ (144～147)	B	災害の被害区域、被害想定区域等の面積や体積を求める。…算④	社会
		比例と反比例 (148～177)	B	地震の揺れを伝えるP波とS波について、伝わる速さの違いをグラフで表す。…算⑤	理科
		場合を順序よく整理して (186～197)	B	避難所に向かう最適な経路を、道のりと時間を整理して考える。…算⑥	社会
	東京書籍	拡大図と縮図 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう (92～103)	B	※ 算③に同じ	社会
		円の面積 円の面積の求め方を考えよう (104～118)	B	※ 算②に同じ	社会
		およその面積と体積 およその面積と体積を求めよう (128～132)	B	※ 算④に同じ	社会
		比例と反比例 比例と反比例の関係をくわしく調べよう (136～162)	B	※ 算⑤に同じ	理科
		並べ方と組み合わせ方 順序よく整理して調べよう (164～173)	B	※ 算⑥に同じ	社会
		データの調べ方 データの特ちょうを調べて判断しよう (178～197)	B	※ 算①に同じ	社会 理科
理科	啓林館	大地のつくりと変化 (122～151)	A	火山活動や地震によって、大地が変化することを調べ、火山災害や地震災害を防いだり、減らしたりする取組について考える。…理①	社会
		発電と電気の利用 (168～187)	B	手回し発電機は、かん電池と同じようなはたらきがあり、災害時のラジオにもそのしくみが使われていることを調べる。…理②	
		自然とともに生きる (188～197)	B	地震や火山の噴火、台風など、地球の活動による環境の変化が、わたしたちの生活にあたえる影響を調べる。…理③	
		フムロウ博士の資料室 ・しせつの活用 (200)	B	科学館に行き、実際に地震のゆれを体験したり、展示品を見学したりして地震について調べる。	
	教育出版	土地のつくり (120～147)	A	火山活動や地震によって、大地が変化することを調べる。	社会
		地震や火山と災害 (148～155)	A	火山災害や地震災害を防いだり、減らしたりする取組について考える。	
		電気の利用 (194～215)	B	※ 理②に同じ	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
理科	東京書籍	変わり続ける大地（120～133）	A	※ 理①に同じ	社会
		電気と私たちの暮らし（148～167）	B	※ 理②に同じ	
		地球に生きる（188～200）	B	※ 理③に同じ	
音楽	教育芸術	音楽が人と人をつなぐ「しあわせ運べるように」（47）	B	大震災の鎮魂と復興への希望を込めた「心の歌」として長年親しまれてきた『しあわせ運べるように』を歌う。…音①	特別活動
		みんなで楽しく「あすという日が」（62～63）	B	『あすという日が』が東日本大震災の復興を願う歌、生きることのすばらしさをうったえる歌であることを思いながら歌う。	特別活動
		音の働きや役割について考えよう（74～75）	B	音がどのような役割をもっているのかを話し合う。（緊急地震速報等）	特別活動
	教育出版	音楽にできること 心を伝える心をつなぐ（40～41）	B	日本各地の被災地でのオーケストラを中心とした音楽活動について調べる。	特別活動
		音楽ランド ・全校合唱（69～71）	B	※ 音①に同じ	特別活動
図画 工作	日本文教	ここから見ると（下12～13）	B	非常口等を示す目印や標識は、どの位置に設置すると効果的なのかを考える。	
		光の形（下14～15）	B	作品づくりの参考として神戸ルミナリエを見て、復興に向けた人々の思い等を想像する。…図①	国語
		わたしの大切な風景（下24～25）	B	被災から復興に向かっていく故郷のまちを描く。	社会
		すてきな明かり（下26～27）	B	※ 図①に同じ	
		水の流れのように（下40～41）	B	作品づくりの参考として、映像等で様々な流れの川の様子を見る。	理科
		未来のわたし（下48～49）	B	災害救助や被災地支援、ボランティア等をする未来の自分を想像し、作品をつくる。	特別活動
		平和をつなげるかたち（下54～55）	B	災害からの復興等を願って描かれた絵画作品を見て、作者の思いを想像する。	国語
家庭	東京書籍	夏をすずしくさやかに（86～95）	B	暑い季節の避難生活について、必要な物や過ごし方の工夫等を考える。…家① 災害時に停電になっても手洗いで洗濯ができることを体験する。…家②	理科
		まかせてね 今日の食事 ・生活を変えるチャンス④（115）	B	非常持ち出し袋の中身を考えたり、家の非常持ち出し袋を準備したりする。	
		冬を明るく暖かく（116～121）	B	寒い季節の避難生活について、必要な物や過ごし方の工夫等を考える。	理科
		あなたは家庭や地域の宝物（122～128） ・プロに聞く ・考えよう ・地域を笑顔に ・地域の一員として	B	災害時の自助・共助・公助、災害に強い町づくりについて考える。…家③ 災害時の行動や避難について家族で話し合う「家族防災会議」の必要性について考える。	社会 道徳 特別活動
		安全に実習しよう（144）	B	実習中に地震が起こったときの対処方法について調べる。	理科
	開隆堂	すずしく快適に過ごす住まい方（94～97）	B	※ 家①・②に同じ	理科
		すずしく快適に過ごす着方と手入れ（98～102）	B	災害時にも役立つものについて調べる。	
		家庭で実践しよう ・チャレンジコーナー（119） 共に生きる地域での生活（120～123）	B	※ 家③に同じ	社会 道徳 特別活動
体育	東京書籍	地域の保健活動（75～78）	B	災害等の非常時に必要な保健活動について考える。…体①	
	学研教育みらい	地域のさまざまな保健活動（54～55）	B	※ 体①に同じ	
	光文書院	地域の保健活動（62～63）	B	※ 体①に同じ	

教科	出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
英語	東京書籍	Unit 5 We all live on the Earth. ・環境について考えよう。 (48～49)	B	地球の環境を守る活動と関連付け、防災につながるボランティア活動等を調べる。	
		Unit 6 Let's think about our food. ・外国から来る食べ物について考えよう。(58～59)	B	世界の食料事情と関連付け、様々な国の非常食を調べる。	
		Unit 8 My Future, My Dream (72～81)	B	JICA等を例にして、世界で活動する防災に関する職業を調べる。	
	光村図書	Unit 6 This is my town. (70～79)	B	自分の町にある防災施設や震災遺構等について紹介する。	
		英語の歌「Bring Happiness to the World」(89)	B	阪神・淡路大震災がきっかけになって生まれた歌「しあわせ運べるように」が海外でも歌われている思いを話し合う。	
		伝えるわざを身につけよう (90～91)	B	外国で災害等の非常事態に遭ったことを想定し、自分の意志を伝える様々な手法を考える。	
		英語の学習を続けていこう (116～117)	B	非常時に役立つ単語等を調べ、「非常時に役立つ単語一覧表」を作成する。	
	三省堂	Presentation 1 This is our school. (38～40)	B	学校行事の一つとして避難訓練を紹介し、その大切さを伝える。	
	教育出版	Lesson 2 My town is beautiful. (22～31)	B	町を紹介するマップ作りに関連付けて、英語で防災マップを作成する。	
	開隆堂	Watch the world. (40～45)	B	自然環境に適応するために工夫された世界の衣食住の様子から、防災・減災に役立つ工夫を考える。	
道徳	啓林館	Unit 3 I want a big park in our town. (30～38)	B	自分の住む地域にあったらよいものから、非常時に自分の身を守ることにつながるものを考える。防災に関するピクトグラムの意味を考える。	
	廣済堂あかつき	高らかにひびけ (50～52)	B	郷土を復興させたいという人々の思いについて考える。…道①	社会 特別活動
		自由という名の席 (86～88)	A	避難所でみんなが気持ちよく過ごすために注意することについて考える。	
		地球の時間、ヒトの時間 (146～149)	A	地球の歴史に思いをはせ、偉大な自然を残すために、できることを考える。	理科
	日本文教	ぼくたちの学校 (58～61)	B	災害に負けず立ち上がろうとする人々の思いを読み取り、自分にできることを考える。…道②	特別活動
		命を守るために (62～63)	A	命の大切さ、災害時の自助・共助について考える。…道③	体育 特別活動
		上村さんのちょうせん - ひさい犬と共に - (72～75)	B	災害救助犬について調べる。	特別活動
		自分を守る力って？ (130～135)	A	※ 道③に同じ	体育 特別活動
		自分にできること (170～173)	B	ボランティアの精神や心得について考える。	特別活動
	光村図書	三十八億年の命 (152～155)	A	地球の歴史、過去からつながっている生命の尊さについて考える。	
		五十五年目の恩返し (156～165)	B	多くの人々の支え合いや助け合いに感謝し、それに応えるためにできることを考える。	社会 特別活動
		「ありがとう」の気持ちを伝える (202～205)	B	児童の災害体験作文を読み、何気ない日常の大切さを考える。	特別活動
	東京書籍	うちら「ネコの手」ボランティア (20～23)	B	避難所でのボランティアについて考える。	特別活動
		土石流の中で救われた命 (50～54)	A	※ 道③に同じ	理科 特別活動
		小さな連絡船「ひまわり」 (166～169)	A	※ 道③に同じ	理科 特別活動
	学研教育みらい	どんな心が見えてきますか (20～21)	B	震災時の写真を見て、給水を待つ人たちの思いを想像する。	特別活動
		こだわりのイナバウアー (102～104)	B	※ 道②に同じ	特別活動
		その思いを受けついで (134～137)	A	死を通して生命の尊さに気付き、阪神・大震災の遺族の思いを考える。…道④	
	教育出版	青い海を取りもどせ (34～37)	B	※ 道①②に同じ	特別活動
		安全について考えよう (42～45)	A	地震に対する備えや心がけについて考える。	家庭 保健 特別活動
		その思いを受けついで (86～91)	A	※ 道④に同じ	

(2) 中学校 〔教科別〕

* は出版社が設定している防災に関する単元

* 区分Aは学習指導要領の目標に準ずるもの、Bは教材、題材で関連させるものや関連する活動を行うもの

【国語】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
光村図書	1	学びをひらく ・情報を的確に聞き取る (30)	B	自分にとって必要な情報を的確にとらえるために、防災に関する連絡について要点をおさえて聞き取り、メモを取る練習をする。	
	2	情報社会を生きる ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう (62～66)	B	大きな災害を想定し、目的や状況に応じてメディアの選び方を考える。	理科 特別活動
	3	論理の展開を整える (116)	B	論理の展開や内容に関わる点に着目して、防災・減災についての文章を整える。	
東京書籍	1	分かりやすく伝える ・調べて分かったことを伝えよう (70～76)	B	災害時の食等のテーマを決め、調べて分かったことを整理し、事実や考えが伝わるように構成を考え、レポートを書く。	技術・家庭 (家庭分野)
	2	説得力を高める ・説得力のある提案をしよう (107～112)	B	防災・減災について、説得力のある話の構成を考え、資料や機器を活用して、分かりやすくプレゼンテーションを行う。	
	3	思いを馳せる ・いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災 (184～195)	B	災害時における情報の伝わり方や価値、メディアの意義等について話し合い、考えをまとめる。	社会 (公民) 理科 特別活動
三省堂	1	複数の情報を関連づけて考える ・防災に関するデータ (144～145) ・「みんなでいるから大丈夫」の怖さ (146～149)	B	防災に関する複数の情報を関連付けて考えをまとめる。	理科 特別活動
	2	地域の魅力を振り返って (220～225)	B	防災・減災をテーマに編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。	
	3	情報を関連づける ・情報の信頼性を確かめて 考えを発信する (150～152)	B	ポスターの題材を防災・減災とし、信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えが分かりやすく伝わる文章を書く。	



【社会（地理的分野）】

出版社	単元名（ ）はページ数		区分	学習活動例	関連する教科等
帝国書院	世界の諸地域	ヨーロッパ州 (68～69)			
		1 ヨーロッパ州の自然環境	A	低地における高波の被害に備える取組を調べる。	
		北アメリカ州 (96～97)			
		1 北アメリカ州の自然環境	A	大平原で発生する竜巻に備える取組を調べる。	理科
	オセアニア州 (122～123)				
		1 オセアニア州の自然環境	A	地球温暖化による海面上昇への影響について考える。…地①	
	身近な地域の調査 (130～141)		A	自然環境（災害）を調査テーマにして、身近な地域の調査を行う。…地②	
	日本の地域的特色	1 山がちな日本の地形 (142～143)	A	地図を活用し、環太平洋造山帯に属する日本列島には、活発な地震活動や火山活動があることを読み取る。…地③	理科
		2 日本の気候 (146～147)	A	資料から、日本には梅雨の長雨や台風等による気象災害をもたらす気候の特徴があることを読み取る。…地④	理科
		4 日本のさまざまな自然災害 (148～149)	A	地震や火山災害、気象災害等のさまざまな自然災害について、調べる。…地⑤	理科
		5 自然災害に対する備え (150～151)	A	国や都道府県、市区町村による防災、減災の取組や災害発生時のボランティアの働き等について調べる。…地⑥	特別活動
		・ハザードマップの読み取り (152)	A	ハザードマップを活用し、自然災害の情報を適切に読み取る。	特別活動
		・防災情報の入手のしかた (153)	A	地域の防災に関する情報を集める。	特別活動
	日本の諸地域	九州地方 (174～177)			
		1 九州地方の自然環境	A	火山活動が人々の生活に与える影響とその対策について調べる。…地⑦	理科
		2 火山と共にある九州の人々の生活			
		九州地方 (182～183)			
		5 南西諸島の自然環境と人々の生活や産業	A	豪雨災害（台風等）が人々の生活に与える影響とその対策を調べる。…地⑧	理科
		中国・四国地方 (190～191)			
		1 中国・四国地方の自然環境	A	土砂災害へ備えた防災意識を高める取組について調べる。	理科
		近畿地方 (206～207)			
		1 近畿地方の自然環境	A	震災の経験を語り継ぐ、神戸の様子を調べる。	特別活動
		中部地方 (222～223)			
		1 中部地方の自然環境	A	御嶽山噴火の教訓を伝える取組を調べる。	理科
		関東地方 (238～239)			
		1 関東地方の自然環境	A	都市水害に備える取組を調べる。	
		東北地方 (256～257)			
		1 東北地方の自然環境	A	津波の被害と災害への備えについて後世に伝える取組を調べる。	理科
		東北地方 (268)			
		・災害からの復興と生活の場の再生	A	東日本大震災からの復興に向けた人々の取組を調べる。…地⑨	特別活動
		北海道地方 (272～273)			
		1 北海道地方の自然環境	A	全員避難を実現した地域ぐるみの防災教育について調べる。	
		北海道地方 (274～275)			
		2 雪と共にある北海道の人々の生活	A	北海道の人々が厳しい自然環境をどのように克服してきたかを調べる。…地⑩	
	地域の在り方 (285～295)		A	防災、減災をテーマに地域の在り方を考える。…地⑪	
東京書籍	諸世界地域の	北アメリカ州 (110)			
		・ハリケーンから人々を守る	A	ハリケーンから人々を守る取組を調べる。	理科
		オセアニア州 (134)			
	地域調査の手法 (140～155)				
		・水没の危機にあるツバル	A	※ 地①に同じ	
	日本の地域区分的特	1 地形から見た日本の特色 (158～161)	A	※ 地②に同じ	
		2 気候から見た日本の特色 (162～163)	A	※ 地③に同じ	理科
		3 自然災害と防災・減災への取り組み (164～165)			
		・震災から命を守る (166～167)	A	※ 地④⑤⑥に同じ	理科 特別活動
		九州地方 (185～189)			
		1 九州地方をながめて	A	※ 地⑦⑧に同じ	理科
	日本の諸地域	2 自然環境に適応する人々の工夫			
		近畿地方 (214～215)			
		3 ニュータウンの建設と都市の開発	A	阪神・淡路大震災の教訓から取り入れられている対策について考える。	特別活動
		中部地方 (221～223)			
		1 中部地方をながめて	A	「輪中」の働きについて調べる。	
		関東地方 (242～243)			
		・まとめの活動 多数の「帰宅難民」が生まれた理由を考えよう	A	多数の「帰宅難民」が出た理由を考える。	
		東北地方 (252～253)			
		4 過去の継承と未来に向けた社会づくり	A	※ 地⑨に同じ	特別活動
	北海道地方 (258～263)				
		1 北海道地方をながめて	A	※ 地⑩に同じ	
	地域の在り方 (270～281)				
		2 自然の制約に適応する人々の工夫	A	※ 地⑪に同じ	

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
日本文教	世界の諸地域 オセアニア州(112～113) 3 太平洋の島々の多様な文化と自然環境 地域調査の手法 (118～137)	A	※ 地①に同じ	
		A	※ 地②に同じ	
	日本の地域区分と特色と	A	※ 地③に同じ	理科
		A	※ 地④に同じ	理科
		A	※ 地⑤に同じ	理科
		A	※ 地⑥に同じ	特別活動
		A	ハザードマップを活用して、防災や減災の取組の要点を読み取る。	
		A		
	日本の諸地域	A	※ 地⑦⑧に同じ	理科
		A	2018年の西日本豪雨について調べる。	理科
		A	巨大地震に備える過疎地域の取組を調べる。	
		A	紀伊山地で発生する風水害について調べる。	理科
		A	阪神・淡路大震災の被害について調べる。	
		A	※ 地⑨に同じ	特別活動
		A	※ 地⑩に同じ	
		A	※ 地⑪に同じ	
		A		



東日本大震災で被災した南三陸町防災対策庁舎

【社会（歴史的分野）】

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
帝国書院	二度の世界大戦と日本 3 近代都市に現れた大衆文化 ・大都市を襲った関東大震災（227）	B	関東大震災の被災状況や、震災直後の混乱を写真や当時の文章から読み取り、後藤新平らが中心となってどのように復興していったのかを考える。	
	現在に続く日本と世界 3 国際社会におけるこれからの日本 ・現代社会の見直しを迫った東日本大震災（283）	B	東日本大震災の津波による原子力発電所事故の現状を踏まえ、環境面に配慮したエネルギーの使い方について考える。	
日本文教	近世の日本と世界 幕府政治の改革と農村の変化 2 農村の変化と民衆動き ・天明のききんと復興（149）	B	浅間山の大噴火を取り上げ、「天地返し」といわれる群馬県の復旧溝群から復興に向けた先人たちの工夫と努力を読み取る。	理科
	近世の日本と世界 幕府政治の改革と農村の変化 ・幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル（154～155）	B	土砂災害の原因になっていた全国のはげ山に対し、江戸幕府が行った植樹対策から、自然との共生を考える。	理科
	近代の日本と世界 日本の近代化 3 都市化の進展と大衆文化 ・関東大震災（235）	B	関東大震災の被災状況や、震災直後の混乱を読み取る。震災復興事業により、どのように災害に強い都市計画をしていったのかを考える。	
	現代の日本と世界 2 グローバル化のなかの日本 （288～289）	B	阪神・淡路大震災や、東日本大震災について調べることで、地域の絆の重要性やボランティア活動の可能性について考える。	特別活動
	現代の日本と世界 3 これからの世界と日本の課題 ・私たちにできること～震災の教訓を未来に伝える～（291）	B	津波被害から先人の知恵を学び、後世の人々に向け石碑を建てた女川町の中学生の姿を通して、過去の災害の経験を未来に伝える活動を考える。	特別活動
	巻末 ・課題例①災害の歴史に学ぶ （300～301）	B	防災・減災に関する備えを過去から学び、饑饉対策、干害対策、防火対策、洪水対策など災害に強い社会の実現に向けた様々な対策を調べる。	
東京書籍	巻頭 ・持続可能な社会の実現に向けて	B	江戸の大半を焼き尽くした大火の後、幕府が火災に強いまちづくりを進めていったことから、歴史を通して人々が生み出してきた知恵や努力を読み取る。	
	近世の日本 産業の発達と幕府政治の動き 4 享保の改革と社会の変化 （130～131）	B	住宅が密集する江戸の火災対策として、幕府が行った取組を踏まえ、江戸時代の防災と現代の防災とを比較する。	
	二度の世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代 3 新しい文化と生活 ・関東大震災（221）	B	関東大震災の被災状況や、震災直後の混乱を写真や当時の文章から読み取る。震災が都市改造のきっかけとなったことを通して、災害に強いまちづくりについて自分の考えをもつ。	
	現代の日本と私たち 新たな時代の日本と世界 3 持続可能な社会に向けて （270～271）	B	阪神・淡路大震災や東日本大震災がもたらした課題について考え、防災教育、ボランティア活動、再生可能エネルギー等について調べる。	特別活動
	現代の日本と私たち 新たな時代の日本と世界 ・震災の記憶を語り継ぐ（274～275）	B	日本の様々な災害の歴史を通して、震災の記憶をどのように次世代に語り継いでいけばよいのか考える。…歴①	特別活動
教育出版	二度の世界大戦と日本 大正デモクラシー 8 モボ・モガの登場 ・関東大震災（225）	B	関東大震災の被災状況や、震災後の復興の道筋を調べ、災害に強いまちづくりについて考える。	
	二度の世界大戦と日本 恐慌から戦争へ ・後藤新平と杉原千畝（238）	B	関東大震災から大都市東京がどのように復興し発展していったのかを、復興計画を立案した後藤新平に注目して調べる。	
	現代の日本と世界 冷戦の終結とこれからの日本 11 私たちの生きる時代へ（280～281）	B	阪神・淡路大震災や東日本大震災等の自然災害について調べ、災害とどのように向き合っていけばよいのか考える。	
	歴史学習の終わりに ・災害の歴史を学ぶ・伝える （290～291）	B	※ 歴①に同じ	特別活動

【社会（公民的分野）】

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	持続可能な社会の実現に向けて ・扉ページ（巻頭2）	A	写真資料を通して、災害後のまちづくりについて考える。	
	現代社会と私たち 現代社会の特色と私たち 1 持続可能な社会に向けて ・未来を創る中学生（9）	A	被災地の中学生の取組から、地域の防災対策への参画について考える。	特別活動
	個人の尊重と日本国憲法 人権と日本国憲法 4 平和主義の意義と日本の役割 （46～47）	A	自然災害時の公助の一つである自衛隊の活動について調べる。…公①	
	現代の民主政治と社会 地方自治と私たち 1 私たちの生活と地方自治 ・公共サービスとコンビニエンスストアについて考えよう（111）	A	災害時における新しい公共サービスについて考える。	
	現代の民主政治と社会 地方自治と私たち 4 住民参加の拡大と私たち （116～117）	A	自然災害時の共助の一つであるボランティア活動について調べる。	特別活動
	現代の民主政治と社会 地方自治と私たち ・東日本大震災からの復興と防災 （124～125）	A	東日本大震災の被災地における復興や防災対策を踏まえ、被災地での事例や地域の防災対策について調べる。…公②	
	地球社会と私たち さまざまな国際問題 2 資源・エネルギー問題 （194～195）	A	災害時でも安全に電力を供給できる、持続可能な発電の方法について考える。…公③	理科
日本文教	これからの社会をどんな社会にしたい？ ・扉ページ（巻頭2）	A	写真を見て、災害時のボランティア活動について考える。…公④	特別活動
	私たちと現代社会 私たちが生きる現代社会の特色 2 情報化で変わる社会と私たち （10～11）	A	災害に備えるため、情報端末で得られる防災情報やその活用について考える。	技術・家庭 （技術分野）
	私たちの生活と政治（個人の尊重と日本国憲法） 法に基づく政治と日本国憲法 4 日本国憲法と国民主権（42～43）	A	被災地を訪問する天皇の写真から、避難所での生活について考える。	
	私たちの生活と政治（個人の尊重と日本国憲法） 日本の平和主義 2 日米安全保障条約と日本の国際貢献（72～73）	A	※ 公①に同じ	
	私たちの生活と政治（国民主権と日本の政治） 国の政治のしくみ ・災害に強い暮らしをきずく （96～97）	A	※ 公②に同じ	
	私たちの生活と政治（国民主権と日本の政治） 暮らしを支える地方自治 1 私たちの暮らしと地方自治 （108～109）	A	災害に対する取組を調べ、地方自治の役割とその重要性について考える。	
	私たちと国際社会 国際社会の課題と私たちの取り組み 5 限りある資源とエネルギー （202～203）	A	※ 公③に同じ	理科
	私たちの課題 ー持続可能な社会をめざしてー ・災害にそなえるには（214）	A	課題例を参考にして、地域の防災・減災の観点から自然災害に対する地域の備えについてレポートを書く。	

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
帝国書院	よりよい社会を目指して ・扉ページ（巻頭1）	A	※ 公④に同じ	特別活動
	現代社会と文化 現代社会の特色 1 情報化が進む現代（3～4）	A	災害時の緊急連絡や情報収集を行う端末機器の利用について考え、避難所や公共施設での対応について調べる。	技術・家庭 （技術分野）
	現代社会と文化 現代社会の特色 1 情報化が進む現代 ・AIを減災に活用（4）	A	防災や減災のために、AIをどのように活用することができるか考える。	技術・家庭 （技術分野）
	現代社会をとらえる枠組み ・防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう （17、19）	B	各地区の地形や立地状況を考慮し、防災備蓄倉庫のふさわしい設置場所について考える。	
	現代社会をとらえる枠組み ・マンションの騒音問題を解決しよう （23～24）	B	ロールプレイングの手法を用い、地域のハザードマップをもとに、避難場所や防災倉庫の設置場所等について検討する。	
	日本国憲法 民主主義と日本国憲法 1 民主主義と立憲主義（29～30）	A	「ボランティア元年」と呼ばれるようになった1995年の阪神・淡路大震災におけるボランティア活動を調べる。	特別活動
	日本国憲法 民主主義と日本国憲法 5 日本の平和主義（39～40）	A	※ 公①に同じ	
	民主政治 地方自治と私たち 2 地方公共団体のしくみと政治参加 （95～96）	A	住民による防災の取組やまちづくりへの参加の意義を考える。	特別活動
	市場経済 企業と経済 7 企業の社会的責任（141～142）	A	写真資料から、被災地支援や被災者の救援協力を行う企業の社会的責任の意義について考え、地域企業の取組について調べる。	
	私たちと国際社会 貧困解消と環境保全 3 資源・エネルギー問題 （193～194）	B	※ 公③に同じ	理科
	よりよい社会を目指して ・防災・減災を通じた社会参画～阪神・淡路大震災の経験を生かす～（巻末2～3）	A	阪神・淡路大震災の経験から学んだ防災や減災の取組を調べ、自分の地域で参画できる取組について考える。	特別活動



1. 17希望の灯り

【数学】

出版社	学年	単元名 () はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
啓林館	1	正の数・負の数 ・正の数・負の数で量を表すこと (15)	B	海面からの高さを正の数と負の数を用いて表す。…数①	
		正の数・負の数 ・数学ライブラリー 琵琶湖の水位 (43)	B	大雨が降った時の琵琶湖の水位を正の数と負の数で表す。	
		方程式 ・方程式の利用 過不足の問題 (103)	B	過不足の問題について、避難所での物資配給等防災と関連付けて考える。…数②	特別活動
		方程式 ・方程式の利用 速さの問題 (104)	B	速さや道のりの問題について、避難時や津波の速さなど防災と関連付けて考える。…数③	特別活動
		方程式 ・数学ライブラリー 問題づくり (107)	B	防災に関する事象を調べ、自分で方程式の問題を考える。	社会 (地理)
		変化と対応 ・比例と反比例の利用 (138～139)	B	地震発生時の波の速さと時間等、防災に関する内容を比例や反比例のグラフで表して考える。…数④	理科
		データの活用 (214)	B	防災に関する様々なデータを例にし、その特徴を考える。…数⑤	社会 (地理)
		学びをいかそう 緊急地震速報 (巻末35～36)	B	地震発生時のP波とS波の伝わり方について考える。…数⑥	社会 (公民) 理科
		学びをいかそう ヒストグラムを観察しよう (巻末45～46)	B	防災に関する事象のヒストグラムを観察し、その特徴を考える。	社会 (地理)
	2	一次関数 ・一次関数 (62)	B	人数と待ち時間の関係について、避難所での様子等防災と関連付けて考える。…数⑦	理科
		一次関数 ・一次関数のグラフ (72)	B	心停止からAEDを使用するまでの時間と、救命の可能性の関係のグラフから情報を読み取る。	保健体育 (保健分野)
	3	平方根 ・平方根の利用 (60)	B	マグニチュードの値が2大きくなると地震のエネルギーは1000倍になることから、 $\sqrt{10}=3.2$ として、マグニチュードの値が1大きくなるごとに、エネルギーはおよそ何倍になるかを求める。…数⑧	理科
		二次方程式 ・二次方程式の利用 (80)	B	避難所となった体育館のレイアウトを考え、2次方程式を使って避難者が利用できる面積を求める。…数⑨	特別活動
		関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ の利用 (111)	B	風圧は風速の二乗に比例することから、風速から風圧を計算する。…数⑩	理科
		標本調査とデータ活用 ・データを活用して問題を解決しよう (212)	B	様々な防災に関するデータを活用して考える。…数⑪	社会 (地理)
		学びをいかそう ・災害から身を守ろう (巻末57～58)	B	避難所までの経路と距離、避難するまでの時間を計算によって求める。	社会 (地理)
日本文教	1	正の数・負の数 ・反対の性質をもつ数量 (17)	B	※ 数①に同じ	
		正の数・負の数 ・身のまわりの正の数と負の数 (23)	B	川の水位を正の数と負の数を用いて表す。	
		方程式 ・方程式の活用 過不足の問題 (114～115)	B	※ 数②に同じ	特別活動
		方程式 ・方程式の活用 速さの問題 (116)	B	※ 数③に同じ	特別活動
		比例と反比例 ・比例と反比例の活用 比例のグラフの活用 (156)	B	※ 数④に同じ	理科
		データの活用 (224～225)	B	※ 数⑤に同じ	社会 (地理)
		数学研究室 地震のP波とS波 (263)	B	※ 数⑥に同じ	社会 (公民) 理科
	2	1次関数 ・1次関数の活用 (85)	B	※ 数⑦に同じ	理科
	3	平方根 ・平方根の活用 (60)	B	※ 数⑧に同じ	理科
		二次方程式 ・二次方程式の利用 (81～83)	B	※ 数⑨に同じ	特別活動
		関数 $y=ax^2$ ・関数の活用 (108)	B	※ 数⑩に同じ	理科
		標本調査 ・標本調査の活用 (208)	B	※ 数⑪に同じ	社会 (地理)
		暮らしと数学 風の力 (216)	B	台風の風の力は風速の二乗に比例することから、台風の階級分けについて調べる。	理科

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
教研出版	1	正の数と負の数 ・符号のついた数で表す (19)	B	※ 数①に同じ	
		1次方程式 ・1次方程式の利用 過不足の問題 (115)	B	※ 数②に同じ	特別活動
		1次方程式 ・1次方程式の利用 速さの問題 (116)	B	※ 数③に同じ	特別活動
		比例と反比例 ・比例と反比例の利用 グラフから読み取る (152)	B	※ 数④に同じ	理科
		比例と反比例 ・比例と反比例の利用 地震の揺れ (153)	B	※ 数⑥に同じ	社会 (公民) 理科
		データの活用 ・データの整理とその活用 (226)	B	※ 数⑤に同じ	社会 (地理)
	2	1次関数 ・一次関数とその利用 (95)	B	※ 数⑦に同じ	理科
	3	平方根 (67) ・根号を含む式の計算 (67)	B	※ 数⑧に同じ	理科
		二次方程式 ・二次方程式の利用 (80)	B	※ 数⑨に同じ	特別活動
		関数 $y=ax^2$ 関数の利用 (119)	B	※ 数⑩に同じ	理科
		標本調査 ・標本調査の利用 (227)	B	※ 数⑪に同じ	社会 (地理)
東京書籍	1	正負の数 ・正負の数 符号のついた数 (21)	B	※ 数①に同じ	
		方程式 ・1次方程式の利用 (104)	B	※ 数②に同じ	特別活動
		方程式 ・1次方程式の利用 (105)	B	※ 数③に同じ	特別活動
		比例と反比例 ・比例と反比例の利用 待ち時間は予想できるかな? (145)	B	人数と待ち時間の関係について、避難所での様子等防災と関連付けて考える。	特別活動
		比例と反比例 ・比例と反比例の利用 比例のグラフを利用して、問題を解決してみよう (149)	B	※ 数④に同じ	理科
		データの分析と活用 ・データの整理と分析 (222～223)	B	※ 数⑤に同じ	社会 (地理)
		比例と反比例 (259)	B	※ 数⑥に同じ	社会 (公民) 理科
	2	1次関数 ・1次関数とみなすこと (85)	B	※ 数⑦に同じ	理科
	3	平方根 ・平方根の利用 (63)	B	※ 数⑧に同じ	理科
		二次方程式 ・二次方程式の利用 (85)	B	※ 数⑨に同じ	特別活動
		2次関数 ・いろいろな関数の利用 (115)	B	※ 数⑩に同じ	理科
		標本調査 ・標本調査の利用 (218～219)	B	※ 数⑪に同じ	社会 (地理)



【理科】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
啓林館	1	活きている地球 ・ゆれる大地（75～85）	A	実験や過去の地震例から、地震の揺れの特徴や揺れの強さに違いが生じる要因について考える。	数学
		活きている地球 ・火をふく大地（86～100）	A	様々な火山活動や火成岩を調べ、マグマの性質の違いと関連してまとめる。	社会（地理）
		活きている地球 ・語る大地（101～119）	A	プレートの動きと火山活動や地震等との関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について調べる。	社会（地理）
		身の回りの物質 ・いろいろな気体とその性質（164）	B	ガスの種類に合わせてガス報知機の設置場所を変える必要性について話し合う。	
		光・音・力による現象 ・力による現象（246）	B	弾性力等を利用した地震に備える建物の構造について調べる。	
	2	生物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ（53）	B	鋭敏な嗅覚を利用して働く災害救助犬について調べる。	
		地球の気候と天気の変化 ・大気の動きと日本の四季（110～125）	A	気象の変化がもたらす恵みや災害について調べ、災害を防ぐための取組についてまとめる。	社会（地理）
		化学変化と原子・分子 ・さまざまな化学変化（183）	B	燃焼の化学変化を止める消火方法の利点について考える。	
		電気とその利用 ・電流の性質（240）	B	テーブルタップにより安易に配線を分岐させることの危険性を踏まえ、避難所で使用する上での注意点について考える。	
		電気とその利用 ・電流と磁界（279）	B	災害に対する備えとして、電源の確保が難しい時に役立つ電磁誘導を利用した機器の活用について考える。	
	3	宇宙を観る ・地球から宇宙へ（52）	B	太陽フレアが原因となり、地球でオーロラが見られたり、大規模停電等が起こったりすることを調べる。	
		化学変化とイオン ・電池とイオン（141）	B	災害に対する備えとして、電源確保のため、長期保管できる電池の活用について考える。	
		運動とエネルギー ・力の合成と分解（181）	B	災害等の発生により水に落ちた場合、浮力を利用して体を浮かせる方法を考える。	
		運動とエネルギー ・エネルギー資源とその利用（234～237）	B	東日本大震災による原子力発電所の事故について調べ、放射線の問題について考える。	社会（公民）
		自然と人間 ・人間と環境（284～301）	A	地域の自然災害について調べ、災害から身を守るために行ってきた防災・減災の取組についてまとめる。	社会（地理・公民）

【音楽】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
教育芸術	1	心通う合唱 ・マイバラード（86～87）	B	心のケアには仲間との絆が大切であるため、災害時には人と人のつながりを大切であることを考えながら合唱する。…音①	道徳
		心通う合唱 ・あすという日が（88～89）	B	自然の素晴らしさを感じ、自然災害による被害にも負けず、一生懸命生きることの大切さを考えながら合唱する。	道徳
	2・3 【上】	心通う合唱 ・大切なもの（86～87）	B	災害時には仲間とのつながりがより一層支えとなることを想像し、友を大切にすることを込めて合唱する。…音②	道徳
	2・3 【下】	生活や社会の中の音楽 ・仕事と音楽（68～69）	B	被災者の心のケアができる音楽の持つ力について考える。…音③	
		歌い継ごう日本の歌 ・花は咲く（70～71）	B	東日本大震災の復興支援プロジェクトの一環として作成された歌から、歌の持つ力を考える。	特別活動
教育出版	1	歌のアルバム ・心をこめて（74～75）	B	災害でいろいろなものを無くした時、そこから立ち上がるためには友の支えが大きな力となることを想像し、心を込めて合唱する。	道徳
	2・3 【上】	語りあおう（10～11）	B	※ 音①に同じ	道徳
		大切なもの（50～51）	B	※ 音②に同じ	道徳
	2・3 【下】	私たちのくらしと音楽 ・アウトリーチ、教育活動、音楽療法について（66～67）	B	※ 音③に同じ	

【美術】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
日本文教	1	デザインや工芸など ・印象に残るシンボルマーク (44～45)	B B	防災に関するマーク等を調べる。…美① 「イメージを単純化する」視点から、地域のハザードマップをより分かりやすく制作する。	社会（地理）
		デザインや工芸など ・わくわくコミュニケーション (48～49)	B	災害時に役立つ、地域の情報をまとめた災害用リーフレットを制作する。	社会（地理）
		デザインや工芸など ・祭りを彩る造形（56～57）	B	仙台市内の小中学生による約9万羽の折り鶴をつないでつくられた「故郷復興プロジェクト」から、作品に込められた思いを考える。	
		学びを支える資料 ・美術館へ行こう（74～75）	B	震災直後の町の様子が写真で展示されている「リアス・アーク美術館」を例に、美術館の特徴を考える。	
	2・3 【上】	デザインや工芸など ・ひと目で伝えるための工夫 (38～39)	B B	ピクトグラムの色彩や形の組み合わせを考え、防災に関係のある標識の特徴や工夫を調べる。…美② 「あったらいい」と思う防災に関するピクトグラムを作る。…美③	
		デザインや工芸など ・暮らしやすさのデザイン (44～45)	B	災害時を想定し、避難所生活等がより暮らしやすくなるような物や環境の工夫を考える。…美④	
		学びを支える資料 ・暮らしに息づくパブリックアート（52～53）	B	神戸市内にある「鉄人28号」を例にして、震災復興や地域活性化のシンボルとして作られたパブリックアートを調べ、その作品に込められた思いを考える。	
	2・3 【下】	絵や彫刻など ・あの日を忘れない（24～25）	B B	自然災害の衝撃を目の当たりにした人々のために、美術でできることを考える。 「誕生」の作品に込められた作者の思いや、その表現の工夫について考える。…美⑤	
		学びを支える資料 ・さまざまなアートに触れよう (50～51)	B	「仙台・神戸子ども絵画交流展」を例にして、復興を願い、美術を通して自分にできることを考える。	
開隆堂	1	絵や彫刻で学ぶこと ・写し取る形（14～15）	B	「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト」をもとに、震災等の出来事を写し取る作品を制作する。	
		絵や彫刻で学ぶこと ・私にとってつくること (30～31)	B	震災を経験した安藤榮作氏の作品から、作者の表したい思いを考える。	
		デザインや工芸で学ぶこと ・ロゴマークで印象づける (40～41)	B	※ 美①に同じ	社会（地理）
	2・3	絵や彫刻で学ぶこと ・場と形の響き合い（32～33）	B	環境と響き合う形や色彩を意識し、被災地等を含め、置く場所にふさわしい美術作品の形や色を考える。	
		鑑賞で学ぶこと ・美術がつながる世界と日本 (50～51)	B	「紙のカテドラル」を例にして、世界の人々の暮らしを支える日本の文化を調べる。	
		デザインや工芸で学ぶこと ・ピクトグラムとサイン計画 (64～65)	B	※ 美②・③に同じ	
		デザインや工芸で学ぶこと ・ポスターで伝える（66～67）	B	レイアウトや配色、書体等の視覚的な効果をいかし、伝えたい内容や情報がまとめられた防災ポスターを制作する。	
		デザインや工芸で学ぶこと ・誰にでもわかりやすく伝える (70～71)	B	誰にでも分かりやすく伝わる工夫を考え、地域のハザードマップを作成する。	社会（地理）
		デザインや工芸で学ぶこと ・安心や安全のデザイン (76～77)	B	「浸水どうぶつものさし」や「地震防災マニュアル」を例にして、非常時に大切な情報を分かりやすく伝えられる防災標識のデザインを考える。…美⑥	
		美術の力を生かして社会とかわる ・東北スクール in Paris (92～93)	B	言葉や文化が違う相手に、美術を通して自分たちの思いを伝えるためのアイデアや、伝達の方法を考える。	
		美術の力を生かして社会とかわる ・美術で世界と向き合う (96～98)	B	※ 美⑤に同じ	
		共に学ぶ美術（114～115）	B	※ 美②・③に同じ	

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
光村図書	1	デザインや工芸など ・印象に残るシンボルマーク (46～47)	B	※ 美①に同じ	社会（地理）
	2・3	絵や彫刻など ・形と色の挑戦など (32～33)	B	震災等の体験をテーマにした作品を題材に、形や色でどのような思いを伝えようとしているかを考える。	
		デザインや工芸など ・メッセージを伝える (56～57)	B	絵や写真等を効果的に組み合わせて、防災・減災を呼びかけるポスターを制作する。	
		デザインや工芸など ・わかりやすく情報を伝える (60～61)	B	※ 美②・③・⑥に同じ	
		デザインや工芸など ・みんなのためのデザイン (62～63)	B	※ 美④に同じ	
		デザインや工芸など ・あかりがつくる空間 (66～67)	B	熊本市で開催されている「みずあかり」が、熊本地震で被災した人々に、どんな影響を与えたかを考える。	
		デザインや工芸など ・心安らぐ場をつくる (74～75)	B	大きな自然災害が起こった後、被災地に作られた憩いの場を題材にして、心安らぐ場になるようどのような工夫がされているかを話し合う。	



阪神・淡路大震災1.17のつどい

【保健体育（保健分野）】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	1	支え合って生きている （口絵7～8）	A	安全に生活するために、どのような人たちに支えられているか考えたり、どのような活動が必要かを話し合ったりする。	
		心身の機能の発達と心の健康 ・心と体の関わり（34～35）	A	自身の経験等をもとにしながら、心と体の関係性について考えたり、心の健康を保つ方法を調べたりする。…保①	
		心身の機能の発達と心の健康 ・ストレスへの対処の方法 （40～42）	A A	ストレスへの対処法やその効果等を調べる。…保② リラクゼーション等のストレスへの対処法を実際に試す。…保③	
	2	傷害の防止（60～61）	B	津波から多くの人を救った「濱口梧陵」や「稲むらの火」を題材に、命を守る防災の必要性を話し合う。…保④	道徳
		傷害の防止 ・自然災害による危険 （70～71）	A A	自然災害が発生した際に、時系列とともにどのような危険があるかを考える。…保⑤ 今までに発生した自然災害による危険をまとめ、その対応策を考える。…保⑥	理科
		傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止 （72～73）	A B	災害時にできるだけ被害を少なくできるような安全対策や安全な行動を考えたり、家族や友達と話し合ったりする。…保⑦ 自分の住んでいる地域の避難場所や避難経路を調べる。…保⑧	理科 社会（地理）
		傷害の防止 ・共に生きる（74～75）	A B B	被災した際に見られる心の状態の変化について調べ、時間の経過ごとに必要な心のケアを考える。 避難所生活で困ったことをインタビューするなどして調べ、よりよい避難所とするための工夫を新聞等にまとめる。 地域の人にインタビューして、地域の災害の歴史等を調べる。	国語 社会（歴史）
		傷害の防止 ・応急手当の意義と方法 （76～77）	A	被災した際に必要な応急手当の方法を調べる。…保⑨	
		章末資料 ・さまざまな自然災害の危険や安全な避難（86～88）	B	災害ごとにどのような危険があるかを調べ、それに対応する安全な行動を考える。	
	3	健康と環境 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理 （138～141）	B	災害が発生した場合に、自治体がどのような衛生管理の工夫を行っているかを調べる。…保⑩	
		健康な生活と疾病の予防 ・感染症の予防（150～151）	B	避難所で必要な感染症の対策について調べる。…保⑪	
大日本図書	1	私たちの生活とスマートフォン （口絵13～14）	B	災害時にスマートフォンを活用し、どのような情報を集めたら役立つかを考える。	技術・家庭 （技術分野）
		心身の発達と心の健康 ・ストレスへの対処（46～47）	A	※ 保②・③に同じ	
		心身の発達と心の健康 ・心と体の関わり（48～49）	A	※ 保①に同じ	
	2	傷害の防止 ・傷害の発生要因と防止 （90～91）	A	自然災害によって起こり得る傷害を調べ、それを防止するためにできる手立てを考える。…保⑫	理科
		傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止 （98～103）	A	※ 保⑦・⑧に同じ	理科 社会（地理）
		傷害の防止 ・応急手当の基本（104～105）	A	※ 保⑨に同じ	
		学びを活かそう ・避難所でできることを考えよう （116）	B	中学生が避難所でできることを考える。…保⑬	
	3	健康な生活と病気の予防 ・感染症の予防（134～135）	B	※ 保⑪に同じ	
		健康と環境 ・生活にともなう廃棄物の処理 （158～159）	B	※ 保⑩に同じ	

出版社	学年	単元名 () はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
学研教育みらい	1	スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち (2～3)	B	災害時に人々の支えとなる活動をしている人について調べる。	特別活動
		行って、見て、学ぼう (8～9)	B	地域の近くにある災害関連施設を訪れ、災害の歴史や取組等について調べる。	特別活動
		心身の発達と心の健康 ・欲求不満やストレスへの対処 (60～63)	A	※ 保②に同じ	
		心身の発達と心の健康 ・リラクセーションの方法 (64)	A	※ 保③に同じ	
	2	傷害の防止 (106～107)	B	※ 保④に同じ	道徳
		傷害の防止 ・傷害の原因と防止 (108～109)	A	※ 保⑫に同じ	理科
		傷害の防止 ・自然災害に備えて (116～117)	A	※ 保⑤・⑥に同じ	理科
		傷害の防止 ・自然災害を知る (118～119)	A	※ 保⑤・⑥に同じ	理科
		傷害の防止 ・自然災害から身を守るために (120～121)	A	※ 保⑦・⑧に同じ	理科 社会 (地理)
		傷害の防止 ・応急手当の意義と基本 (122～123)	A	※ 保⑨に同じ	
		傷害の防止 ・探求しようよ！ (津波) (130～131)	B	普通の波と津波の違いを調べる。	理科
		傷害の防止 ・探求しようよ！ (急な大雨や雷・竜巻から身を守るために) (130～131)	B	天候の急変による豪雨災害等の特徴を調べ、そうした災害から身を守る方法を考える。	理科
	3	健康な生活と病気の予防 3 ・感染症とその予防 (152～155)	B	※ 保⑪に同じ	
		健康な生活と病気の予防 3 ・探求しようよ！ (みんなの健康を守るための活動) (166)	B	※ 保⑬に同じ	
		健康と環境 (168～169)	B	被災地を支える支援活動やボランティア活動について調べる。	特別活動
		健康と環境 ・生活排水の処理 (178～179)	B	※ 保⑩に同じ	
		健康と環境 ・ごみの処理 (180～181)	B	※ 保⑩に同じ	
大修館書店	1	「共に生きる」 (口絵 5)	B	熊本県学校支援チーム等、被災地の支援活動に取り組む人々について調べる。	特別活動
		心身の発達と心の健康 ・心と体のかかわりとストレス (48～49)	A	※ 保①に同じ	
		心身の発達と心の健康 ・ストレスへの対処のしかた (50～51)	A	※ 保②に同じ	
		心身の発達と心の健康 ・リラクセーションの方法 (52～53)	A	※ 保③に同じ	
	2	けがの防止と応急手当 (96～97)	B	近年に発生した災害等で、どれくらいの被害があったかを調べる。	
		けがの防止と応急手当 ・自然災害によるけがの防止 (106～107)	A	※ 保⑤・⑥・⑦・⑧に同じ	理科 社会 (地理)
		けがの防止と応急手当 ・応急手当の意義と基本 (108～109)	A	※ 保⑨に同じ	
		けがの防止と応急手当 ・特集資料 (116～117)	B	※ 保⑤・⑥・⑦・⑧に同じ	理科 社会 (地理)
	3	感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ・感染症の予防 (138～139)	B	※ 保⑪に同じ	
		環境の健康への影響 (154～155)	B	マンホールトイレを例にして、災害時の環境に配慮した工夫について調べる。	
		環境の健康への影響 ・気象情報の適切な利用 (158～159)	B	気象情報の内容を詳しく調べ、非常時にどのような情報が活用できるかを考える。	理科
		環境の健康への影響 ・災害と環境 (168～169)	B	災害が健康にどのような影響をもたらすかを調べ、新聞等にまとめる。 B 災害に関する情報にはどのようなものがあるかを調べ、情報の活用法と留意点について考える。	社会 (公民) 技術・家庭 (技術分野)

【技術・家庭（技術分野）】

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ・丈夫な製品を作るために（34～35）	A	震災時にも倒壊しにくくなるような構造や身の回り にある強度を上げる工夫を調べる。…技①	
	社会の発展と材料と加工の技術 ・材料と加工の技術の最適化（79）	A	建造物の強度を上げたり、耐震性を向上させたりす る技術について調べる。	
	社会の発展と材料と加工の技術 ・これからの材料と加工の技術 （80～82）	B	環境への負荷や耐久性等の点で優れている、新しい 技術の活用について考える。	
	社会の発展と生物育成の技術 ・生物育成の技術と環境との関わり （134）	B	土砂災害等の自然災害を防ぐ林業の機能について調 べる。	理科
	災害時の電気事故の防止（155）	B	大地震時に起こる、倒れた電気機器や破損した電気 配線が原因となる通電火災の危険について調べる。	理科
	エネルギー変換の技術による問題解決 （170）	B	災害による停電時を想定し、既存の製品に改善の余 地がないか考える。	理科
	電気回路の設計・制作の流れ（172）	B	電源や制御を工夫した電気回路の設計を行い、災害 時に役立つライトを製作する。	理科
	機構モデルの設計・制作の流れ（180）	B	災害時に活用できるロボットの設計・製作を行う。	
	生活や社会を支えるロボットの技術 （186）	B	福島ロボットテストフィールドについて調べ、大規 模災害に備えたロボット開発について考える。	
	復興のために技術が果たす役割（191）	B	原子力発電所の事故から、復興のために技術が果た す役割を調べる。	
開隆堂	受け継がれ発展する技術（18）	A	建物の耐震性を高めるため、昔から受け継がれてき た工夫について調べる。	
	CLT（クロス・ラミネイテッド・ティン バー）（93）	B	耐久性や安全性の高い、新しい材料について調べ る。	
	災害を防ぐ森林の働き（139）	B	土砂崩れ等の自然災害を防ぐ機能を持つ保安林とい う。	
	防災用品に用いられているエネルギー 変換の技術（144）	B	日常で使用する製品と比較することで、防災用品の 工夫点を調べる。	
	安定して電気を供給するしくみ（151）	B	大地震発生時に起こる、発電所の緊急停止や送電線 の断絶などによる停電について調べる。	理科
	電気機器の安全な利用（162）	B	※ 技②に同じ	理科
	電気機器の保守点検（164）	B	破損した電気配線が原因となる通電火災を防ぐため に、電気機器の点検の仕方を調べる。	理科
	非常時に光るライト（180）	B	傾斜スイッチを利用した電気回路の設計を行い、災 害時に役立つライトを製作する。	
	防災地図アプリ（245）	B	CLT（クロス・ラミネイテッド・ティンバー）の活 用されている場面を調べる。	
教育図書	材料と加工の技術 ・地震への対応（17）	A	※ 技①に同じ	
	社会の発展と生物育成の技術 ・生物育成の技術と生活や社会、環境 との関わり（116）	B	生物育成の技術には社会や自然との様々な関わりが あり、その中の土砂崩れなどの自然災害を防ぐ機能 について調べる。	理科
	災害時に役立つライト（168）	B	トランジスタをスイッチとして利用した電気回路の 設計を行い、災害時に役立つライトを製作する。	

【技術・家庭（家庭分野）】

出版社	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	私たちの食生活（20～105）	B	避難所での食事について考える。 災害時の非常食を作ったり食べたりする。 食品保存や食中毒の防止について調べる。 …家①	
	私たちの衣生活（106～157） ・洗濯機を用いた洗濯（124～125） ・いざというときに役立つ防災リュック（146）	B B B	停電時の手洗い洗濯について調べる。（小学校の復習） 避難時の衣服について考える。 中に入れる物の種類や大きさ等を考えて、防災リュックサックをつくる。 …家②	
	私たちの住生活（158～181） ・住まいの役割と安全な住まい方（160～173） ・災害への対策（174～177） ・学習のまとめ（180～181）	A A A	避難所の役割やそこでの暮らしについて考える。 家具の固定や耐震設備等、安全な住まいについて調べる。 地域の防災マップをつくる。 …家③	社会（地理） 道徳 保健体育
	私たちの成長と家族・地域 ・家庭生活と地域との関わり（218～219）	B	地域の人々と支え合う活動（防災訓練等）について調べたり、地域のためにできる防災活動について考えたりする。…家④	社会（地理） 道徳 特別活動
	生活の課題と実践 ・「私たちの食生活」を主とした課題と実践（272）	B	災害食について調べ、実際に作ってみる。	
	防災・減災手帳（巻末）	A	防災・減災手帳で災害に対して日ごろから備えておくべき物事について調べたり考えたりする。 …家⑤	
開隆堂	家族・家庭生活（12～67） ・遊びを支える環境の変化（38） ・中学生の地域での活動（57） ・誰もが暮らしやすい地域をめざす食生活（70～159）	B	※ 家④に同じ	社会（地理） 道徳 特別活動
		B	※ 家①に同じ	
	衣生活（160～205） ・めざそう洗濯名人（180～181） ・製作例2 非常時に備えて 非常持ち出し袋（190）	B	※ 家②に同じ	
	住生活（206～225） ・防火対策（217） ・災害への備え（218～221）	A	※ 家③に同じ	社会（地理） 道徳
	生活の課題と実践 ・非常食のローリングストック弁当づくり（276）	B	非常食として家にどんなものが備蓄してあるかを調べたり、どんなものを備蓄すればよいかを考えたりする。備蓄してあるものを使って弁当を作る。 …家⑥	
	災害から「いのちと生活」を守るために（巻末）	A	※ 家⑤に同じ	
教育図書	実習は安全に取り組もう（6～7）	B	実習中に地震が起きたときの対処方法を考える。	
	家族・家庭や地域とのかかわり（12～69） ・中学生が地域を支える（26）	B	※ 家④に同じ	社会（地理） 道徳 特別活動
	食生活（70～161） ・災害時の食生活を考えよう（149）	B	※ 家①・⑥に同じ	
	衣生活（162～211） ・災害時の衣生活（185） ・わが家の防災袋（203）	B	※ 家②に同じ	
	住生活（212～234） ・住まいの中で起こる事故（家庭内事故）の例（226～227） ・災害に備えた安全な住まい方を考えよう（228～231）	A	※ 家③に同じ	社会（地理） 道徳
	センパイに聞こう（235） ・地域の防災リーダーをめざして！ ・東日本大震災の経験から	B	地域のためにできる防災・減災活動について考えたり、日常と非日常の衣食住を比較したりする。	社会（地理） 道徳 特別活動
	生活の課題と実践 ・住みやすいまち・安全なまちってどんなまち？（284）	B	災害に強いまちづくり、災害時に助け合えるまちづくりについて考える。	社会（地理） 道徳 特別活動

【外国語（英語）】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	1	Unit 3 Club Activities Part 3 数をたずねたり答えたりしよう (34～36)	B	非常持ち出し袋を準備し、その中に入れて避難所に持って行く物の数について英語で表現する。…英①	
		Let's Talk 3 道案内 (94)	B	避難所や消防署等への道順についての英語で対話をする。…英②	
		Stage Activity 3 My Favorite Event This Year (120～121)	B	学校行事の一つとして避難訓練について英文を書く。…英③	特別活動
	2	Learning HOME ECONOMICS in English (19)	B	保存食について英語で話し合いや発表をする。	技術・家庭 (家庭分野)
		Unit 3 My Future Job Unit Activity (44)	B	消防署においてトライやる・ウィーク等の職業体験をした生徒がいる場合、その体験について英語で伝え合ったり発表したりする。…英④	特別活動
		Unit 5 Universal Design (71～79)	B	ユニバーサルデザインの意義をもとに、災害弱者や海外からの来訪者に対する配慮を考える。	
	3	Unit 1 Sports for Everyone Unit Activity (16)	B	外国人中学生に震災関連施設（人と防災未来センター等）や震災遺構を案内するプランを考える。	
		Let's Listen 3 ラジオの災害情報 (56)	B	英語での災害情報を聞き、どう行動すればよいかを考える。	
		Unit 4 Be Prepared and Work Together (57～66)	B	外国人の地震体験を聞いたり、外国人観光客が被災した場合の避難訓練の様子や標識の意味を調べたりする。	
		Unit 6 Beyond Borders (89～98)	B	災害発生時の日本の国際援助について調べ、国境を越えた助け合いやボランティアについて考える。	
三省堂	1	GET Plus 2 チョウが何匹見えますか (46～47)	B	※ 英①に同じ	
		Lesson 3 Our New Friend Part 2 (54～57)	B	町にある消防署や避難所等の防災関連施設について英語で話したりクイズを作ったりする。	
		Lesson 5 School Life in the U.S.A. USE Write 学校生活や行事を紹介するメールを書こう (90～91)	B	※ 英③に同じ	特別活動
		Take Action! Talk 4 ABCケーキはどこですか (107)	B	※ 英②に同じ	
	2	Lesson 2 My Dream Project 1 将来の夢を紹介しよう (28～31)	B	将来の夢が消防士や災害ボランティアとして働くことである生徒のスピーチを聞き感想を述べ合うことを通し、災害時の共助について考える。	特別活動
		Take Action! Talk 2 それはいい案だね (33)	B	被災地支援のためにできるボランティア活動のアイディアについて話し合うことを通じ、中学生ができる被災地支援について考える。	特別活動
		Reading for Information 4 オリビエサラダのレシピ (104)	B	災害時に役立つパッキングのレシピを取り上げ、災害時の食について考える。 ＜参考：パッキング＞ https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf17/documents/reshipi2.pdf	技術・家庭 (家庭分野)
	3	Starter Best Music of All Time "Stand by Me" (6)	B	東日本大震災時のベン・E・キングの活動から、被災地への支援について考える。	特別活動
		Take Action! Listen 1 避難訓練のアナウンス (16)	B	避難訓練の英語でのアナウンスを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る。	
		Take Action! Talk 4 道順を教えてくださいませんか (63)	B	人と防災未来センター等の施設や消防署等への交通経路を英語で説明する…英⑤	
		付録 Songs 英語の歌 Flowers Will Bloom -Hana wa Saku (付録2)	B	東日本大震災の復興支援ソングを聴いたり歌ったりすることを通して、震災について考える。	音楽

出版社	学年	単元名 () はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
開隆堂	1	Power-Up 3 道案内をしよう① (駅ビル) (76)	B	商業ビルで災害を想定し、非常口までの経路を、英語で説明する。(※駅ビルの地図に非常口と階段を描き入れたものを用意する。)	
		PROGRAM 7 Research on Australia Scenes (81)	B	自分の住んでいる地域にある防災関連施設(消防署等)や震災関連施設(人と防災未来センター等)、震災遺構等について英語で表現する。	
	2	PROGRAM 1 Start of a New School Year Interact 2 Come to My Hometown. (14)	B	外国人に対する震災関連施設(人と防災未来センター等)や震災遺構の紹介文を書く。	
		PROGRAM 3 Taste of Culture Interact (36)	B	将来の夢が消防士や災害ボランティアとして働くことである生徒の英文を取り上げ、感想を述べ合う。	特別活動
		Reading 2 Friendship beyond Time and Borders (84~87)	B	トルコや他国に対する日本の国際援助や、東日本大震災等の災害への他国の援助について調べ、国境を越えた助け合いやボランティアについて考える。	特別活動
		Word Web 5 町の風景 (118~119)	B	※ 英②に同じ	
	3	Power-Up 1 道案内をしよう② (電車の乗り換え) (28)	B	※ 英④に同じ	特別活動
		PROGRAM 4 Sign Languages, Not Just Gestures! (51~59)	B	サインやジェスチャーをもとに、障害者等の災害弱者に対する配慮を考える。	
		Power-Up 3 ホームページで学校を紹介しよう (60~61)	B	※ 英③に同じ	特別活動
		Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう (90)	B	デパート火災での避難誘導のアナウンスから避難経路を聞き取り、どう行動すればよいかを考える。	
光村図書	1	Unit 5 This Is Our School (72~81)	B	災害発生時は学校が避難所として使用されることに触れながら、学校施設を英語で案内する。	
		You Can Do It! 学校行事の紹介ページを作ろう (132~133)	B	※ 英③に同じ	特別活動
	2	Daily Life Scene 4 道案内 (60)	B	※ 英⑤に同じ	
		Unit 5 Earthquake Drill (63~71)	B	地震発生時の身の守り方や行動について聞き取る。防災バッグに何を入れるべきか、話し合って決める。	特別活動
		Unit6 Work Experience (75~83)	B	※ 英④に同じ	特別活動
		Let's Read Meet Hanyu Yuzuru (86~89)	B	本文から、東日本大震災発生時の様子や人々の助け合いについて読み取る。	道徳
		Unit 7 Amazing Australia (95~103)	B	震災関連施設(人と防災未来センター等)や震災遺構について、英語での紹介文を考える。	
	3	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True (60~63)	B	東日本大震災の大津波により引き起こされた福島第1原子力発電所事故で活用されたレスキューロボットについて読み取り、震災からの復興や災害への備えについて考える。	



【特別の教科 道徳】

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
廣済堂あかつき	1	アップルロード作戦（52～53）	B	よりよい地域をめざし、自分にできるボランティア活動について考える。…道①	特別活動
		国際協力ってどういうこと？（106～110）	B	国際協力について考えることを通して、被災地への災害派遣活動等の国際貢献する人々の活動について調べる。…道②	社会（公民）
		語りかける目（130～133）	A	震災で家族を失った方の話から、限りあるかけがえのない生命の尊さについて考える。…道③	
	2	相馬野馬追の季節（50～54）	B	震災のあとの厳しい状況の中で、相馬野馬追を開催した人々には、どのような思いがあったかを考える。	社会（地理） 特別活動
	3	千年の先のふるさとへ（137～141）	B	被災した故郷の町を復興するために立ち上がった生徒たちの取組を通して、郷土を愛し、その発展に努めることについて考える。	社会（地理） 特別活動
日本文教	1	震災を乗り越えて～復活した郷土芸能～（90～93）	B	被災した町の復興のために、地域社会の一員として自分にできることを考える。…道④	社会（地理） 特別活動
		違いを乗り越えて（104～107）	B	異なる文化を持つ外国人との避難所における生活支援について考える。…道⑤	
		ゆうへ～生きてくれていてありがとう～（142～147）	A	※ 道③に同じ	
		役に立つことができるかな（172～175）	A	災害時において、かけがえのない生命を守る仕事に携わる人々の活動について考える。…道⑥	特別活動
	2	行動する建築家 坂 茂（106～109）	A	坂さんはどんな思いで、被災地を支援しているかを考える。	特別活動
		避難所にて（154～157）	A	避難所での生活で、配慮することを考える。	
		つながりを減災に生かすために（158～159）	A	地域や人と人とのつながりが、減災に必要な理由を話し合う。	特別活動
	3	「稲むらの火」余話（78～83） 自分の命を守るために（84～85）	B	村人を守った先人の思いに触れ、自分たちが地域のためにできることを考える。	社会（地理） 特別活動
		塩むすび（154～157）	A	避難所での生活を通して、人々の思いやつながりについて考える。	社会（地理） 特別活動
		希望（188～191）	A	復興へ向けて懸命に働く人々を通じて、生命を大切に生きていくために必要なことを考える。	社会（地理） 特別活動
光村図書	1	ひまわり（55～58）	A	※ 道③に同じ	
		異文化の人々と共に生きる（117～122）	B	※ 道⑤に同じ	
	2	命が生まれるそのときに（39～42）	A	繁延さんの「私も生きよう」という思いの源を話し合う。	
		段ボールベットへの思い（69～72）	A	段ボールベットを作っている理由を考える。	
	3	あの日 生まれた命（26～29）	A	震災の日に生まれた命を通じて、命の尊さについて考える。	社会（地理） 特別活動

出版社	学年	単元名（ ）はページ数	区分	学習活動例	関連する教科等
東京書籍	1	山に来る資格がない (34～37)	A	自他の生命を守り、安全な生活を送るためにどのような判断が正しかったかについて考える。	
		楽寿号に乗って (49～51)	A	※ 道①に同じ	特別活動
		「看護する」仕事 (80～84)	A	※ 道⑥に同じ	特別活動
		火の島 (132～137)	A	人間の力をこえた自然の力があることを踏まえ、予知される自然災害への備えを考える。	社会（地理）理科
		桜に集う人の思い (150～153)	A	※ 道④に同じ	社会（地理）特別活動
	2	田老の生徒が伝えたいもの (170～173)	A	マニュアル通りにいかないときに適切な判断をするには何が必要かを考える。	
	3	背番号15が歩んだ道－黒田博樹 (36～41)	A	被災地を元気づけた黒田選手の生き方について考える。	
		一冊の漫画雑誌 (158～161)	A	募金箱を置いた子どもたちの思いを通して、助け合い、協力し合うために必要なことを考える。	特別活動
学研教育みらい	1	壊れた掲示板 (50～52)	B	※ 道④に同じ	社会（地理）特別活動
		熊本城の復旧は明日への勇気 (53)	B	※ 道④に同じ	社会（地理）特別活動
		町内会デビュー (102)	A	※ 道①に同じ	特別活動
		ボランティア活動 (107)	A	※ 道①に同じ	特別活動
		エルトゥールル号の遭難 (170～175)	B	※ 道②に同じ	社会（公民）
	2	未来に響け”復興輪太鼓” (136～139)	A	古タイヤの練習を続けるうちに、生徒たちがどんな気持ちになっていったかを考える。	
		群青の絆 (140～141)	A	群青の歌詞に込められた思いを話し合う。	音楽
		私は大丈夫 (178～180)	A	災害が起こった時のために、どんな備えをしておいたらいいかを話し合う。	
		「いざというとき」を考える (181)	A	いざという時、どんな心がけが必要かを考える。	
	3	ありがとうの不思議な力 (14～15)	A	被災地の人々からの「ありがとう」について考える。	特別活動
		思いをひとつに東北絆まつり (67)	B	東日本大震災後の東北地方の人々の郷土への思いについて考える。	社会（地理）
		ボランティアで感じた支援の絆 (115)	A	被災地の中学校が発行した新聞を通して、ボランティア活動について考える。	特別活動
		亡き母へのトランペット (180～185)	A	震災で母を失った瑠璃さんの心の変化を考える。	特別活動

防災教育カリキュラム作成の手引き
～兵庫の防災教育はじめての一步～

令和3年3月
兵庫県教育委員会事務局教育企画課
〒650-8567
兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL 078-362-3214

